

第3次加須市生涯学習推進計画（案）

新旧対照表

	頁
<目次>	
第1章 計画の概要	
1 策定の趣旨	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画期間	3
第2章 生涯学習に関する市民意識調査の結果	
1 市民意識調査の方法、2 調査項目	4
3 調査結果	5
第3章 生涯学習を推進するうえでの今後の課題	19
第4章 基本理念と基本目標	22
第5章 施策の体系	
1 施策の体系図	24
第6章 基本目標の実現に向けた施策	
基本目標1 生涯学習活動の推進	
施策1 生涯学習機会の充実	27
施策2 生涯学習環境の整備・充実	33
基本目標2 芸術文化の振興	
施策1 芸術文化活動の振興	35
施策2 「加須の偉人」も顕彰	36
基本目標3 文化財の保存継承による郷土愛の醸成	
施策1 文化財の積極的な保存・活用の推進	37
基本目標4 読書活動の推進	
施策1 子ども読書活動の推進	41
施策2 市民の読書活動の推進	43
基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組の推進	
施策1 家庭教育の支援	44
施策2 青少年の健全育成	44
施策3 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進	45
施策4 人権教育の推進	47
第7章 計画の推進・評価体制	
1 計画の推進体制、2 計画の評価体制	48

第1章 計画の概要

1 策定の趣旨

生涯学習とは、市民一人ひとりが行う学習のみならず、社会教育や学校教育において、おこなわれる様々な学習活動を含め、あらゆる機会、あらゆる場所において、だれもが生涯にわたり豊かな人生を送ることができるよう学習活動を行うことです。

近年の人口減少や少子化・長寿化の進行、高度情報化の進展など、社会情勢の変化に伴い、個人の生き方や価値観にも多様化が進み、様々な生涯学習ニーズへの対応が求められます。

このようなか、本市では、平成24年3月に第1次加須市生涯学習推進計画を策定し、「豊かな心を育む生涯学習による生きがいづくり」を基本理念とし、第1次加須市総合振興計画の将来都市像である「水と緑と文化の調和した元気都市かぞ」の実現に向けて、生涯学習の施策の推進に取り組んできました。

平成27年12月には、本市の教育・学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱となる「加須市人づくり宣言～教育大綱～」を制定し、教育の目的を「人づくり」と捉え、次の三つの市民の姿を目指して邁進することを宣言しました。

一、未来を担い社会で活躍する人

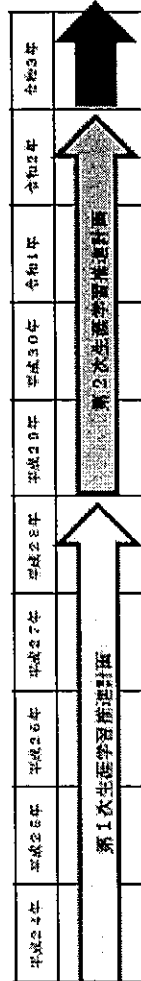
一、郷土を愛し地域を支える人

一、夢を持ち生涯をはつらつと暮らす人

また、平成29年3月には、総合振興計画の部門別計画として、「加須市人づくり宣言～教育大綱～」の具現化を目指す「加須市人づくりプラン」を策定しました。

さらに、平成29年12月に、加須市人づくり宣言や加須市人づくりプランを踏まえて、「第2次加須市生涯学習推進計画」を策定し、生涯学習関連施策を推進してきました。

このたび、令和2年度に第2次加須市生涯学習推進計画の計画期間が終了することから、これまで取り組んできた施策を評価し、その成果を活かしながら、市民の学習ニーズを捉えた生涯学習活動の支援等を充実させ、生涯学習の施策を総合的・計画的に推進するため、「第3次加須市生涯学習推進計画」を策定するものです。



第1章 計画の概要

1 策定の趣旨

本市では、総合振興計画に基づき、平成24年3月に加須市生涯学習推進計画を策定し、「豊かな心を育む生涯学習による生きがいづくり」を基本理念とし、将来都市像である「水と緑と文化の調和した元気都市 かぞ」の実現に向けて、生涯学習の施策の推進に取り組んできました。

このようなか、人口減少や少子化・長寿化の進行、高度情報化の進展など、社会情勢が変化するなか、個人の生き方や価値観にも多様化が進み、生涯学習においても市民ニーズの多様化が見られます。

平成27年12月には、本市の教育を推進する上で基本となる「加須市人づくり宣言～教育大綱～」を制定し、教育の目的を「人づくり」と捉え、次の三つの市民の姿を目指して邁進することを宣言しました。

一、未来を担い社会で活躍する人

一、郷土を愛し地域を支える人

一、夢を持ち生涯をはつらつと暮らす人

また、平成28年10月には、本市のまちづくりの基本となる総合振興計画基本構想を改訂するとともに、同年11月には総合振興計画後期基本計画を策定しました。

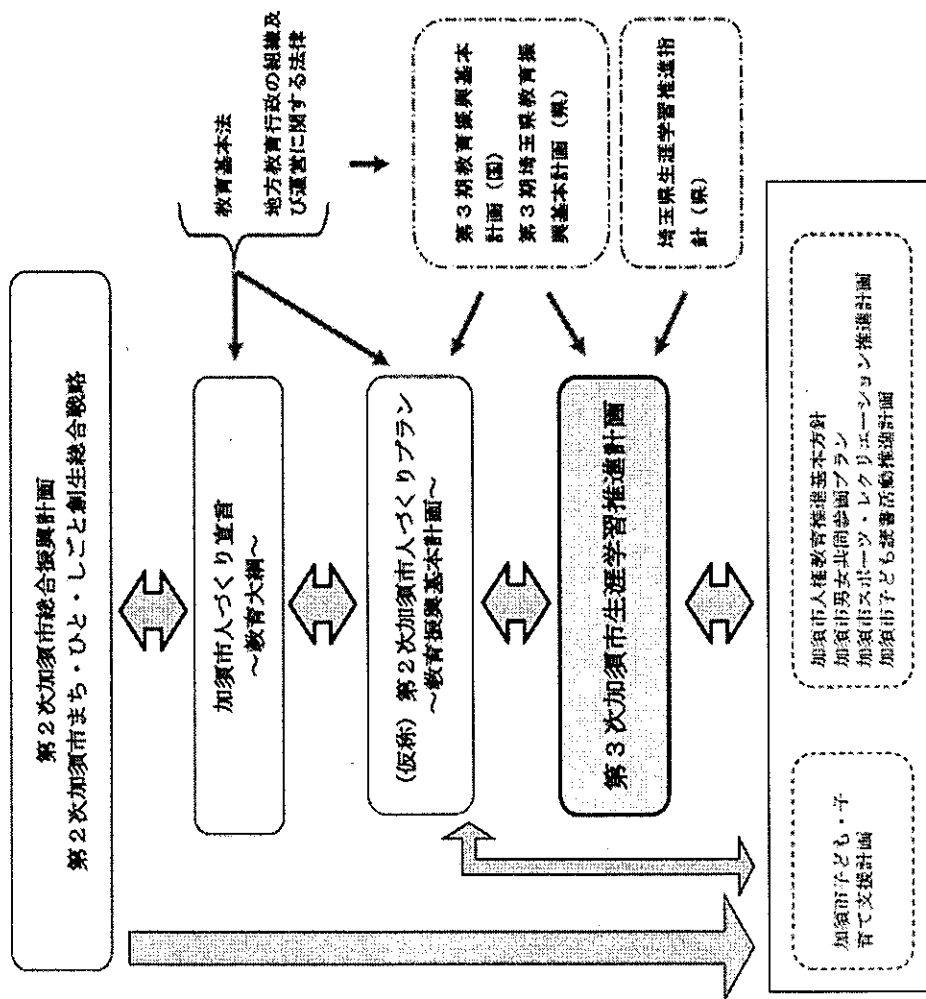
さらに、平成29年3月には、総合振興計画の部門別計画として、「加須市人づくり宣言～教育大綱～」の具現化を目指す「加須市人づくりプラン」を策定しました。

そこで、生涯学習推進計画の計画期間が終了したことから、これまで取り組んできた施策を評価し、その成果を活かしながら、市民の学習ニーズを捉えた生涯学習活動の支援等を充実させるため、本市の上位計画である総合振興計画との整合性を図り、また、人づくり宣言～教育大綱～を踏まえた「加須市人づくりプラン」の基本目標である「生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります」を具体化し、生涯学習の施策を総合的・計画的に推進するため、「第2次加須市生涯学習推進計画」を策定するものです。

2 計画の位置付け

本計画は、加須市総合振興計画の部門計画として、「加須市人づくりプラン」を踏まえて関連する「加須市スポーツ・レクリエーション推進計画」や「加須市子ども読書活動推進計画」などの各種計画との整合性を図りつつ、策定するものです。

また、「加須市の生涯学習活動に関する調査」の結果を踏まえつつ、社会的背景や地域特性を考慮しております。



2 計画の位置付け

本計画は、加須市総合振興計画の部門計画として、「加須市人づくりプラン」を踏まえて関連する各種計画との整合性を図りつつ、策定するものです。また、「加須市の生涯学習及びスポーツ・レクリエーション活動に関する調査」の結果を踏まえつつ、社会的背景や地域特性を考慮しております。

加須市総合振興計画基本構想・後期基本計画

(H28～H32)

加須市人づくり宣言～教育大綱～
平成27年12月21日策定

加須市まち・ひと・しごと創生
総合戦略

加須市健康づくり推進計画

加須市高齢者支援計画

加須市子ども・子育て支援計画

加須市人権教育推進基本方針

加須市子ども読書活動推進計画

など

加須市人づくりプラン
(H29～H32)

第2次加須市生涯学習推進計画 (H29～H33)

3 計画期間

本プランの計画期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

年 度 計 画	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
第2次総合振興計画 基本構想										
第2次総合振興計画 前期基本計画										
第2次加須市 人づくりプラン										
第3次加須市 生涯学習推進計画										

3 計画期間

本プランの計画期間は、平成29年度から平成32年度までの4年間とします。

年 度 計 画	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
総合振興計画 基本構想										
総合振興計画 後期基本計画										
加須市人づくりプラン										
第2次加須市 生涯学習推進計画										

第2章 生涯学習に関する市民意識調査の結果

1 市民意識調査の方法

『加須市の生涯学習活動に関する調査』を行い、回答のあった「生涯学習活動に関する調査」をグラフ化したものです。

令和2年1月実施

調査対象：市内在住18歳以上80歳以下の市民

対象数：1,000人

回答者：351人（回収率35.1%）

回答方法：郵送

2 調査項目

項目	前回調査
問1 余暇時間の過ごし方と生涯学習について	
(1) 余暇時間の過ごし方	—
(2) 生涯学習の目的について	○
(3) 生涯学習に取り組むにあたっての学習方法について	○
(4) 生涯学習の取り組み内容について	○
(5) 生涯学習を実践している場所について	○
問2 学習情報の提供について	
(1) 学習上の問題について	○
(2) 学習やセミナー・講座などに期待するものについて	○
問3 学習情報・学習相談について	
(1) 生涯学習に関する情報収集について	○
(2) 生涯学習に関する相談について	○
問4 学習成果について	
(1) 学習成果の活かし方について	○
問5 学習費用について	
(1) 生涯学習活動を行うにあたり1か月あたりの自己負担について	○
問6 公民館や文化・学習センターの利用について	
公民館や文化・学習センターの利用について	○

※文中に「前回」とあるのは、平成28年2月に実施した同様趣旨の調査結果です。

※端数調整の結果、回答の構成比合計が100%にならない場合があります。

第2章 生涯学習に関する市民意識調査の結果

1 市民意識調査の方法

『加須市の生涯学習及びスポーツ・レクリエーション活動に関する調査』を行い、回答のあった「生涯学習活動に関する調査」をグラフ化したものです。

平成28年2月実施

調査対象：市内在住18歳以上80歳以下の市民

対象数：1,000人

回答者：283人（回収率28.3%）

2 調査項目

項目	前回調査
問1 余暇時間の過ごし方と生涯学習について	
(1) 平日における余暇時間の過ごし方	—
(2) 休日における余暇時間の過ごし方	—
(3) 生涯学習の目的について	○
(4) 生涯学習に取り組むにあたっての学習方法について	○
(5) 生涯学習の取り組み内容について	○
(6) 生涯学習を実践している場所について	—
問2 学習情報の提供について	
(1) 学習上の問題について	○
(2) 学習やセミナー・講座などに期待するものについて	○
問3 学習情報・学習相談について	
(1) 生涯学習に関する情報収集について	○
(2) 生涯学習に関する相談について	○
問4 学習成果について	
学習成果について	○
① 学習成果の活かし方について	○
問5 学習費用について	
(1) 生涯学習活動を行うにあたり1か月あたりの自己負担について	○
問6 公民館や文化・学習センターの利用について	
公民館や文化・学習センターの利用について	—

※文中に「前回」とあるのは、平成23年6月に実施した同様趣旨の調査結果です。

※端数調整の結果、回答の構成比合計が100%にならない場合があります。

3 調査結果

問1 余暇の過ごし方と生涯学習について

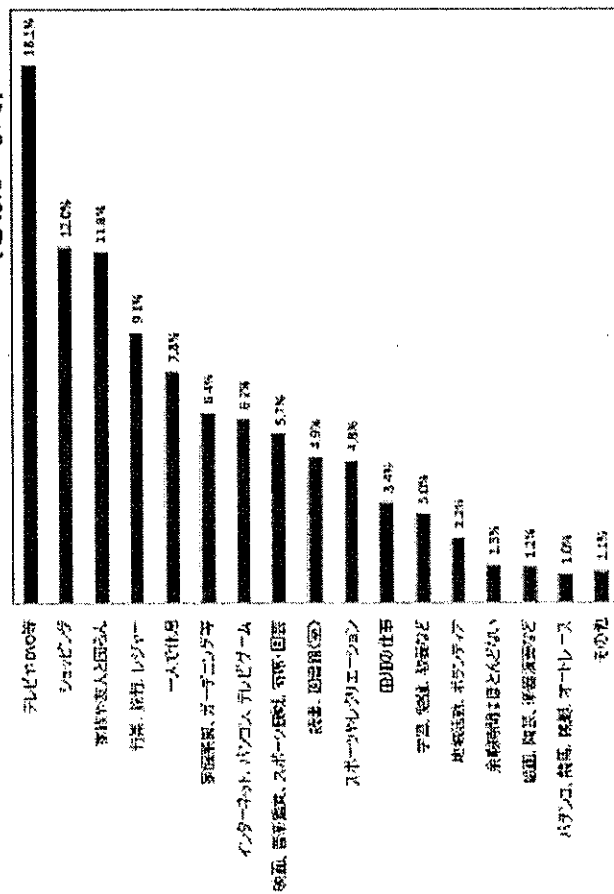
(1) 余暇時間の過ごし方

「テレビやDVD等」(18.1%)、「ショッピング」(12.0%)、「家族や友人と団らん」(11.8%)、が10%を超えています。「絵画、陶芸、楽器演奏など」(1.2%)、「パチンコ、競馬、競艇、オートレース」(1.0%)などが下位となりました。

回 答 項 目	構成比	順 位
テレビやDVD等	18.1%	1位
ショッピング	12.0%	2位
家族や友人と団らん	11.8%	3位
行楽、旅行、レジャー	9.1%	4位
一人で休息	7.8%	5位

あなたは、余暇時間をどのように過ごしていますか。

(〇は5つまで)



回答割合

(総数:1428)

3 調査結果

問1 余暇の過ごし方と生涯学習について

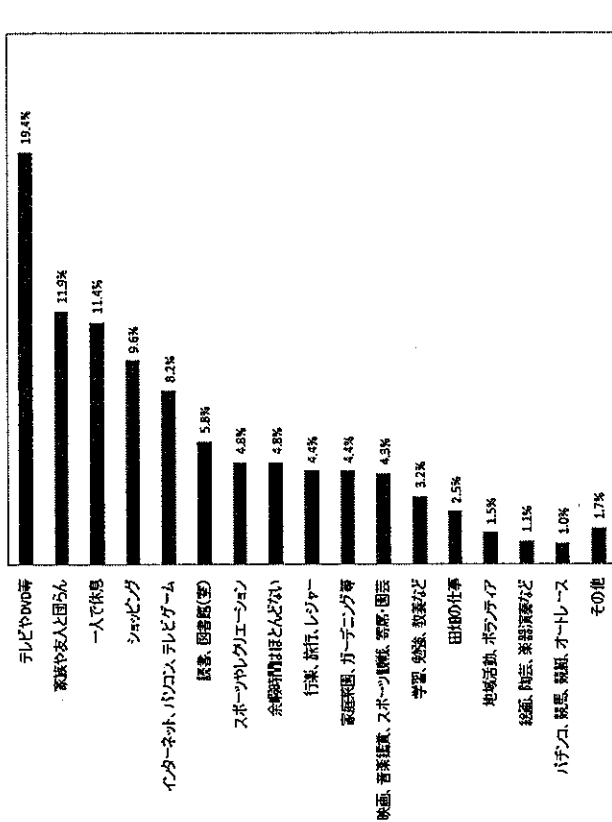
(1) 平日における余暇時間の過ごし方

「テレビやDVD等」(19.4%)、「家族や友人と団らん」(11.9%)、「一人で休息」(11.4%)、が10%を超えています。「地域活動、ボランティア」(1.5%)、「絵画、陶芸、楽器演奏など」(1.1%)などが下位となりました。

回 答 項 目	構成比	順 位
テレビやDVD等	19.4%	1位
家族や友人と団らん	11.9%	2位
一人で休息	11.4%	3位
ショッピング	9.6%	4位
インターネット、パソコン、テレビゲーム	8.2%	5位

あなたは、平日、余暇時間をどのように過ごしていますか。

(〇は5つまで)



回答割合

(総数:390)

(2) 休日における余暇時間の過ごし方

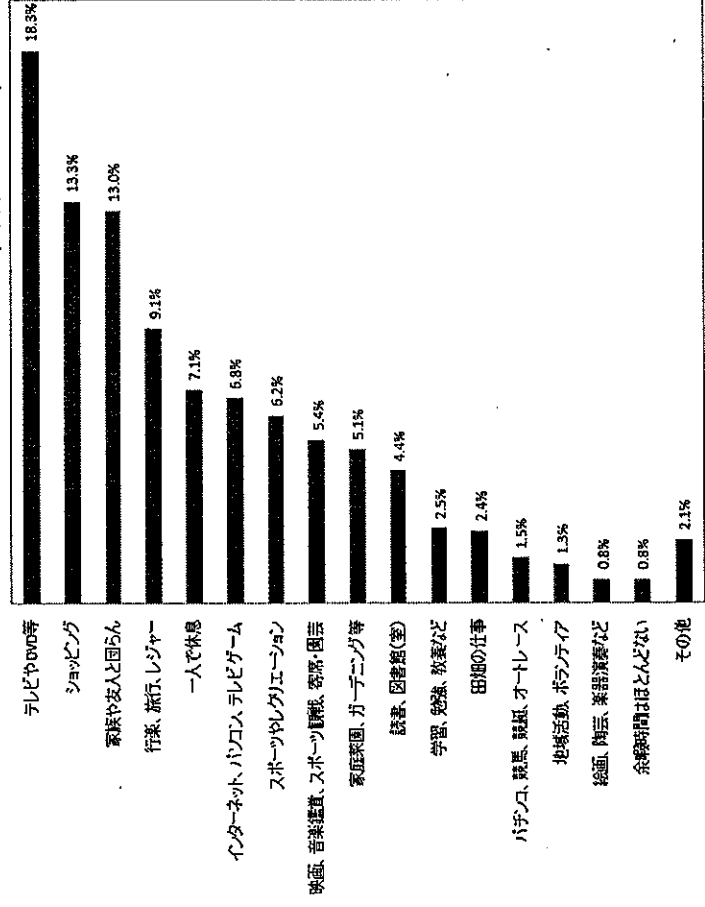
平日の過ごし方と比べて、「ショッピング」(13.3%)や「行楽、旅行、レジャー」

(9.1%)の割合が高くなっています。「余暇時間はほとんどない」という方も0.8%と、平日よりかなり少なくなっています。

回 答 項 目	構成比	順 位
テレビやDVD等	18.3%	1位
ショッピング	13.3%	2位
家族や友人と団らん	13.0%	3位
行楽、旅行、レジャー	9.1%	4位
一人で休息	7.1%	5位

あなたは、休日、余暇時間をどのように過ごしていますか。

(〇は5つまで)



(総数:1,009)

回答割合

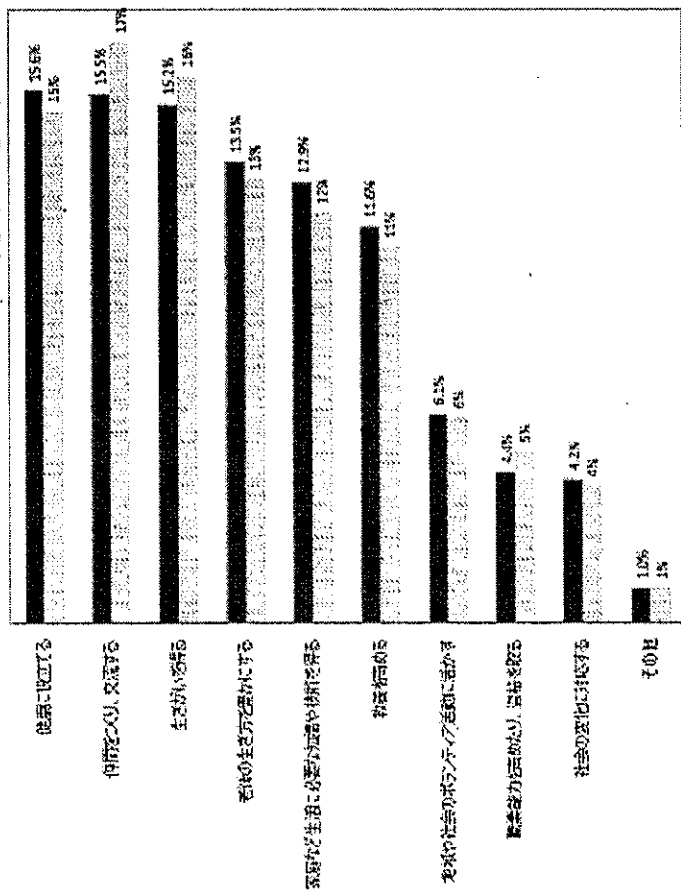
(2) 生涯学習の目的について

生涯学習の目的は、「健康に役立てる」(15.6%)、「仲間をつくり、交流する」(15.5%)が多くなっています。「職業能力を高めたり、資格を取る」(4.4%)、「社会の変化に対応する」(4.2%)などが下位となりました。

回 答 項 目	構成比	順 位	前 回
健康に役立てる	15.6%	1位	3位
仲間をつくり、交流する	15.5%	2位	1位
生きがいを得る	15.2%	3位	2位
老後の生き方を豊かにする	13.5%	4位	4位
家庭など生活に必要な知識や技術を得る	12.9%	5位	5位

あなたは、生涯学習の目的はどんなことだと思いますか。

(〇は3つまで)



(総数: 914)

回答割合

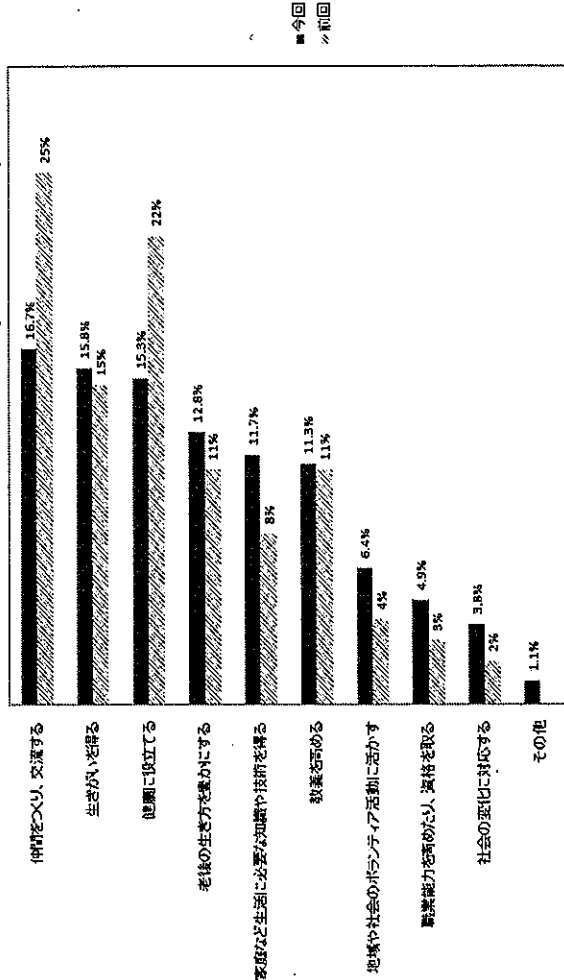
(3) 生涯学習の目的について

生涯学習の目的は、「仲間をつくり、交流する」(16.7%)、「生きがいを得る」(15.8%)が多くなっています。また、「家庭など生活に必要な知識や技術を得る」(11.7%)が前回より順位を上げています。「社会の変化に対応する」(3.8%)は低い結果となりました。

回 答 項 目	構成比	順 位	前 回
仲間をつくり、交流する	16.7%	1位	1位
生きがいを得る	15.8%	2位	3位
健康に役立てる	15.3%	3位	2位
老後の生き方を豊かにする	12.8%	4位	4位
家庭など生活に必要な知識や技術を得る	11.7%	5位	6位

あなたは、生涯学習の目的はどんなことだと思いますか。

(〇は3つまで)



回答割合

(総数: 732)

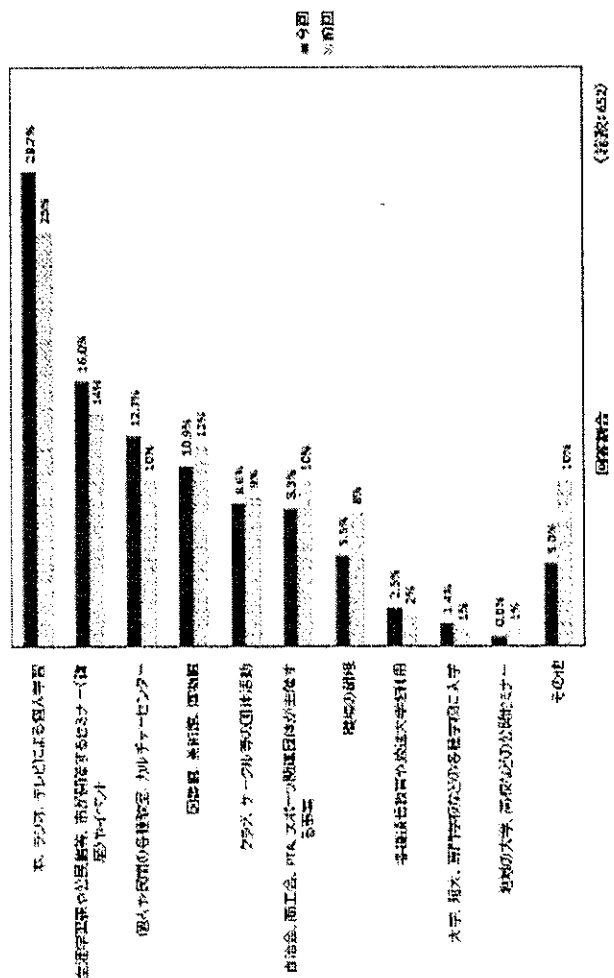
(3) 生涯学習に取り組むにあたっての学習方法について

「本、ラジオ、テレビによる個人学習」(28.7%)が1位となり、2位に大きく差をつけています。それに対して、「大学、短大、専門学校などの各種学校に入学」(1.4%)、「地域の大学、高校などの公開セミナー」(0.6%)といった方法で取り組む人は少なく、個人で学習しようとする人が多い結果となっています。

回答項目	構成比	順位	前回
本、ラジオ、テレビによる個人学習	28.7%	1位	1位
生涯学習課や公民館等、市が開催するセミナー(講座)やイベント	16.0%	2位	2位
個人や民間の各種教室、カルチャーセンター	12.7%	3位	4位
図書館、美術館、博物館	10.9%	4位	3位
クラブ、サークル等の団体活動	8.6%	5位	6位

あなたは、生涯学習に取り組むにあたって、どのような方法で学習していますか。

(〇は3つまで)



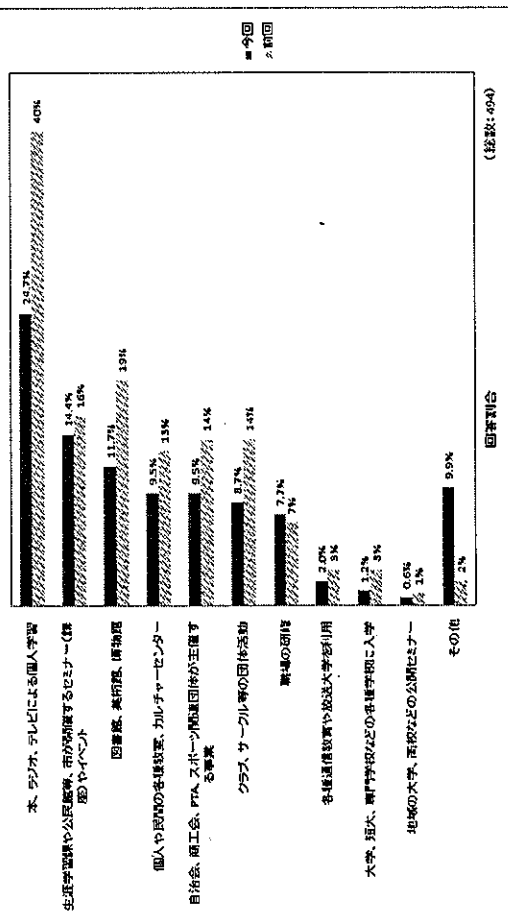
(4) 生涯学習に取り組むにあたっての学習方法について

「本、ラジオ、テレビによる個人学習」(24.7%)が1位となり、2位に大きく差をつけています。それに対して、「大学、短大、専門学校などの各種学校に入学」(1.2%)、「地域の大学、高校などの公開セミナー」(0.6%)といった方法で取り組む人は少なく、個人で学習しようとする人が多い結果となっています。

回答項目	構成比	順位	前回
本、ラジオ、テレビによる個人学習	24.7%	1位	1位
生涯学習課や公民館等、市が開催するセミナー(講座)やイベント	14.4%	2位	3位
図書館、美術館、博物館	11.7%	3位	2位
個人や民間の各種教室、カルチャーセンター	9.5%	4位	6位
自治会、商工会、PTA、スポーツ関連団体が主催する事業	9.5%	4位	5位

あなたは、生涯学習に取り組むにあたって、どのような方法で学習していますか。

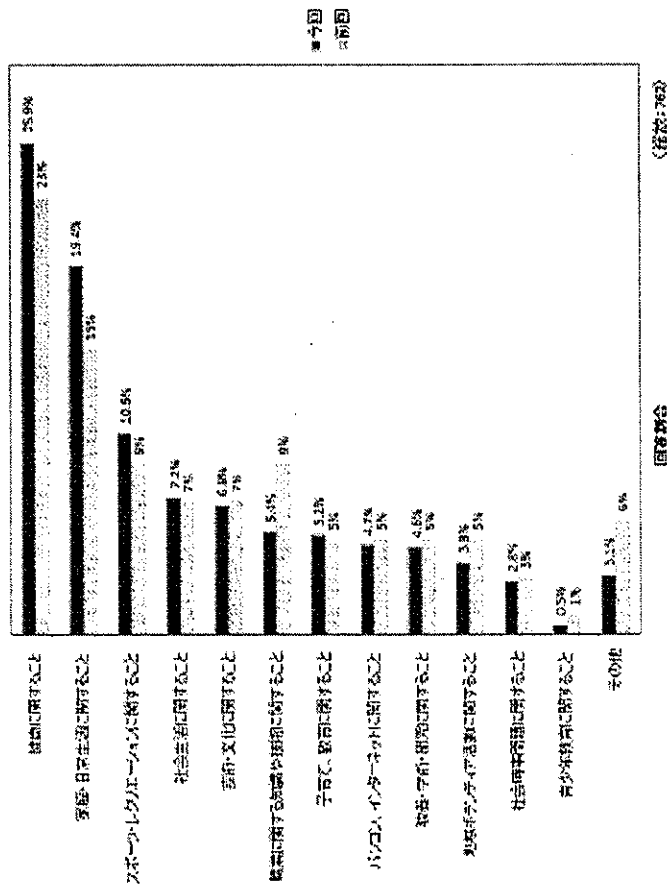
(〇は3つまで)



(4) 生涯学習の取り組み内容について
 取り組んでいる内容としては、「健康に関すること」(25.9%)、「家庭・日常生活に関すること」(19.4%)「スポーツ・レクリエーションに関すること」(10.6%)が多く、健康と家庭という、日常生活に密接に関わる部分が高い値となりました。

回 答 項 目	構 成 比	順 位	前 回
健康に関すること	25.9%	1位	1位
家庭・日常生活に関すること	19.4%	2位	2位
スポーツ・レクリエーションに関すること	10.6%	3位	4位
社会生活に関すること	7.2%	4位	5位
芸術・文化に関すること	6.8%	5位	6位

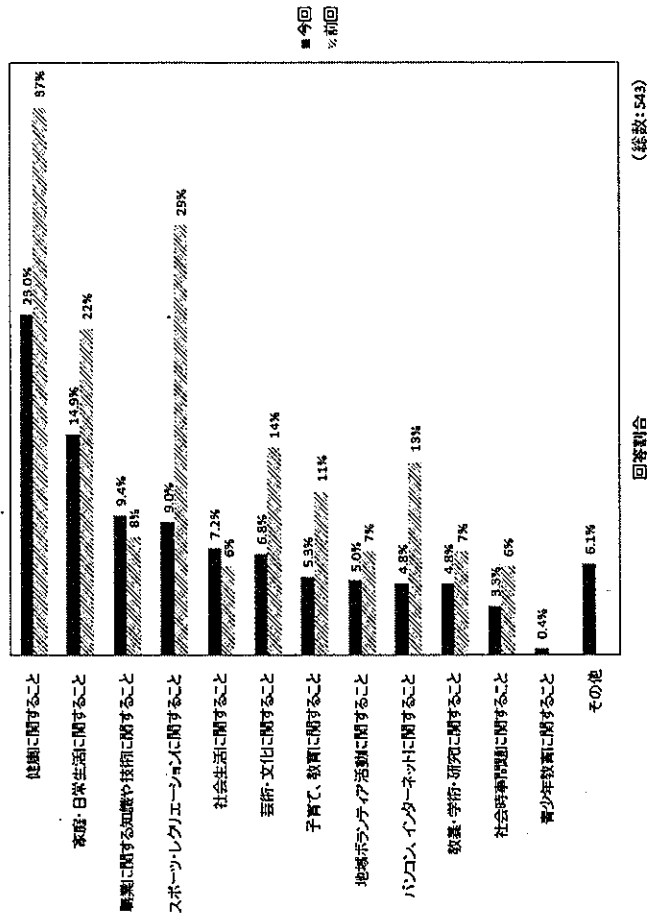
あなたは、どのようなこと(内容)を生涯学習で取り組んでいますか。
 (〇は3つまで)



(5) 生涯学習の取り組み内容について
 取り組んでいる内容としては、「健康に関すること」(23.0%)、「家庭・日常生活に関すること」(14.9%)が高く、健康と家庭という、生活に密接に関わる部分が高い値となりました。「社会時事問題に関すること」(3.3%)、「青少年活動に関すること」(0.4%)は下位となっています。

回 答 項 目	構 成 比	順 位	前 回
健康に関すること	23.0%	1位	1位
家庭・日常生活に関すること	14.9%	2位	3位
職業に関する知識や技術に関すること	9.4%	3位	7位
スポーツ・レクリエーションに関すること	9.0%	4位	2位
社会生活に関すること	7.2%	5位	10位

あなたは、どのようなこと(内容)を生涯学習で取り組んでいますか。
 (〇は3つまで)

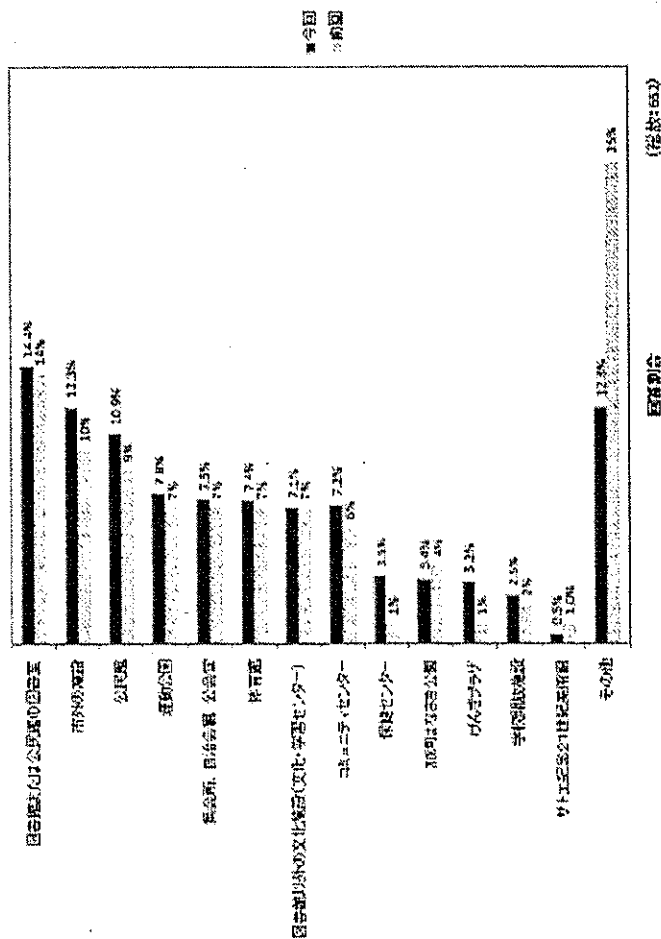


(5) 生涯学習を実践している場所について

「図書館または公民館の図書室」(14.4%)が最も多い結果となり、次いで「市外の施設」(12.3%)となっています。7%台の平均値の回答が多く、さまざまな場所で生涯学習が行われていることがわかります。

回 答 項 目	構成比	順位	順位
図書館または公民館の図書室	14.4%	1位	1位
市外の施設	12.3%	2位	2位
公民館	10.9%	3位	3位
運動公園	7.8%	4位	7位
集会所、自治会館、公会堂	7.5%	5位	4位

あなたは、どのような場所で生涯学習に取り組んでいますか。
(〇は5つまで)

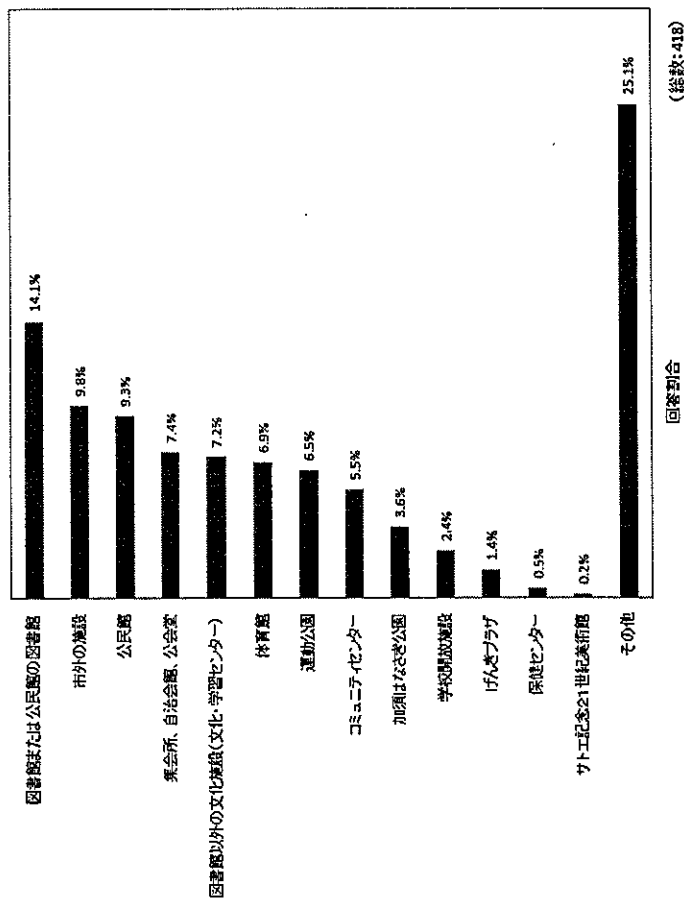


(6) 生涯学習を実践している場所について

「図書館または公民館の図書室」(14.1%)が最も高い結果となり、次いで「市外の施設」(9.8%)となっています。「その他」も25.1%と高い値となっており、さまざまな場所で生涯学習が行われていることがわかります。

回 答 項 目	構成比	順位
図書館または公民館の図書室	14.1%	1位
市外の施設	9.8%	2位
公民館	9.3%	3位
集会所、自治会館、公会堂	7.4%	4位
図書館以外の文化施設(文化・学習センター)	7.2%	5位

あなたは、どのような場所で生涯学習に取り組んでいますか。
(〇は3つまで)



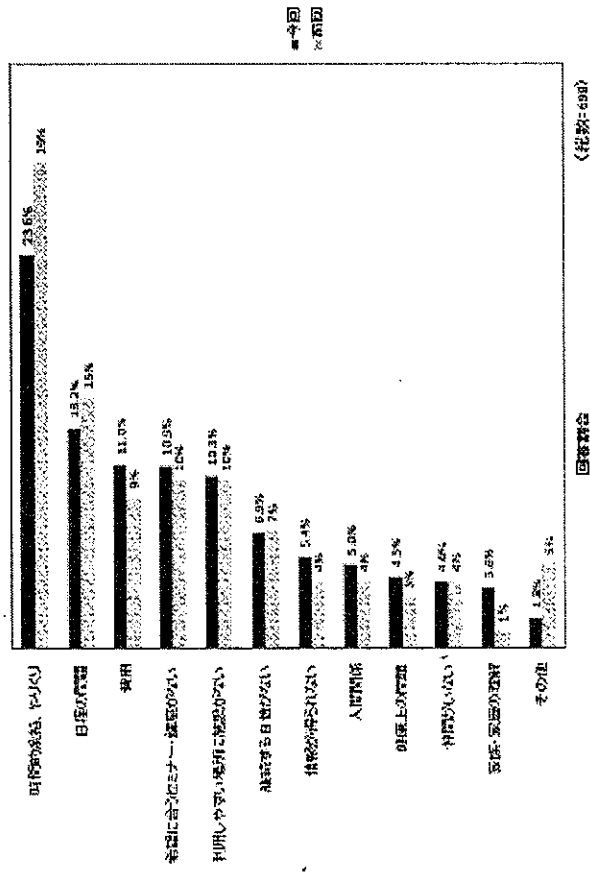
問2 学習機会の提供について

(1) 学習上の問題については、「時間的余裕、やりくり」(23.6%)、「日程の問題」(13.2%)が多く、日程的・時間的な問題が大きいことが分かります。また、「希望に合うセミナー・講座がない」(10.9%)、「利用しやすい場所に施設がない」(10.3%)のように、学習環境が障害となっている人もいます。

回答項目	構成比	順位	前回
時間的余裕、やりくり	23.6%	1位	1位
日程の問題	13.2%	2位	2位
費用	11.0%	3位	5位
希望に合うセミナー・講座がない	10.9%	4位	4位
利用しやすい場所に施設がない	10.3%	5位	3位

あなたは、生涯学習を進める上で、どのような学習上の問題がありますか。

(○は3つまで)



(比較: 前回)

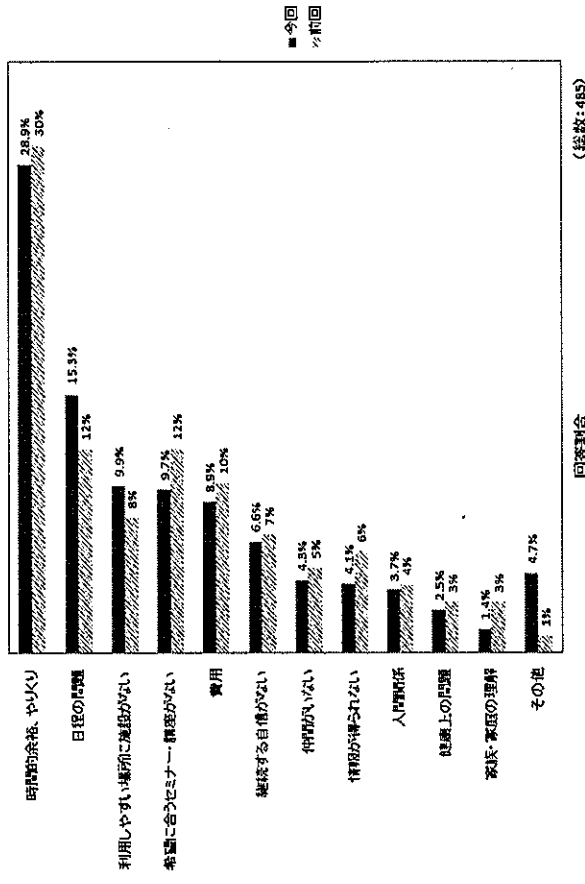
問2 学習機会の提供について

(1) 学習上の問題については、「時間的余裕、やりくり」(28.9%)、「日程の問題」(15.3%)が多く、日程的・時間的な問題が大きいことが分かります。また、「利用しやすい場所に施設がない」(9.9%)、「希望に合うセミナー・講座がない」(9.7%)のように、環境面が障害となっている人もいます。

回答項目	構成比	順位	前回
時間的余裕、やりくり	28.9%	1位	1位
日程の問題	15.3%	2位	2位
利用しやすい場所に施設がない	9.9%	3位	5位
希望に合うセミナー・講座がない	9.7%	4位	3位
費用	8.9%	5位	4位

あなたは、生涯学習を進める上で、どのような学習上の問題がありますか。

(○は3つまで)



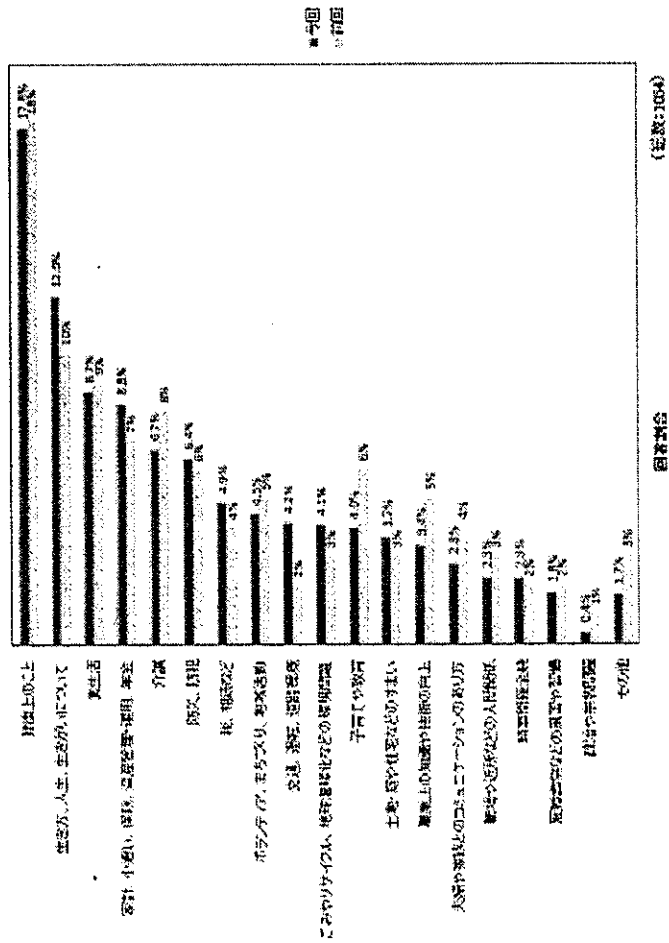
(比較: 前回)

(2) 学習やセミナー・講座などに期待するものについて

学習やセミナー・講座に期待するものは、「健康上のこと」(17.8%)、「生き方、人生、生きがいについて」(12.0%)が多くなっています。日常生活に密接に関わる部分が高い値となりました。

回答項目	構成比	順位	前回
健康上のこと	17.8%	1位	1位
生き方、人生、生きがいについて	12.0%	2位	2位
食生活	8.7%	3位	3位
家計、小遣い、保険、資産管理・運用、年金	8.3%	4位	5位
介護	6.7%	5位	4位

あなたが、学習やセミナー・講座などに期待するものは何ですか。
(〇は5つまで)

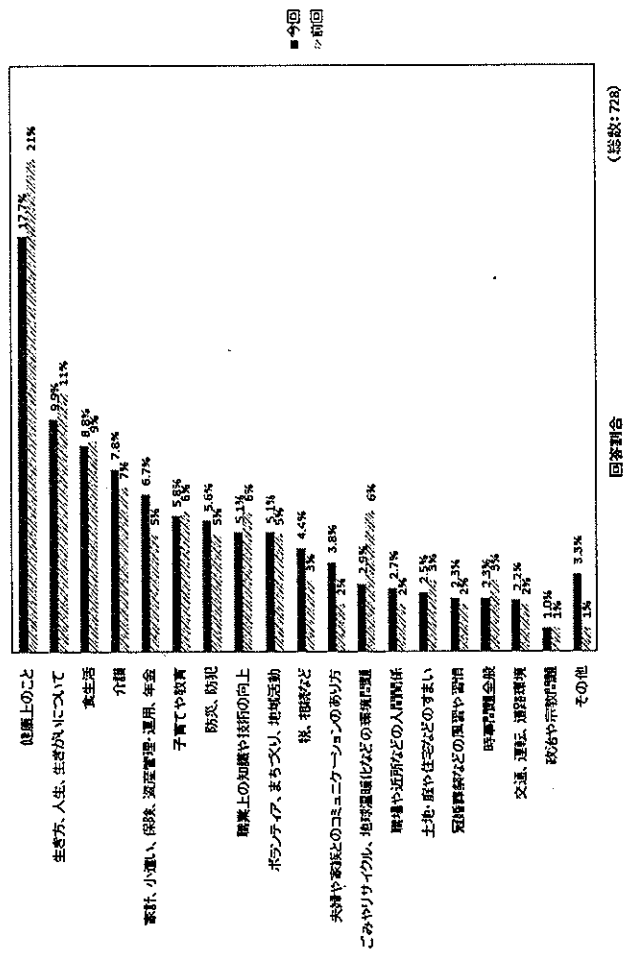


(2) 学習やセミナー・講座などに期待するものについて

学習やセミナー・講座に期待するものは、「健康上のこと」(17.7%)が2位に大きく差をつけて、1位となりました。「家計、小遣い、保険、資産管理・運用、年金」(6.7%)が前回の110位から5位へ順位をあげて、需要が高まっていることが分かります。

回答項目	構成比	順位	前回
健康上のこと	17.7%	1位	1位
生き方、人生、生きがいについて	9.9%	2位	2位
食生活	8.8%	3位	3位
介護	7.8%	4位	4位
家計、小遣い、保険、資産管理・運用、年金	6.7%	5位	110位

あなたが、学習やセミナー・講座などに期待するものは何ですか。
(〇は5つまで)



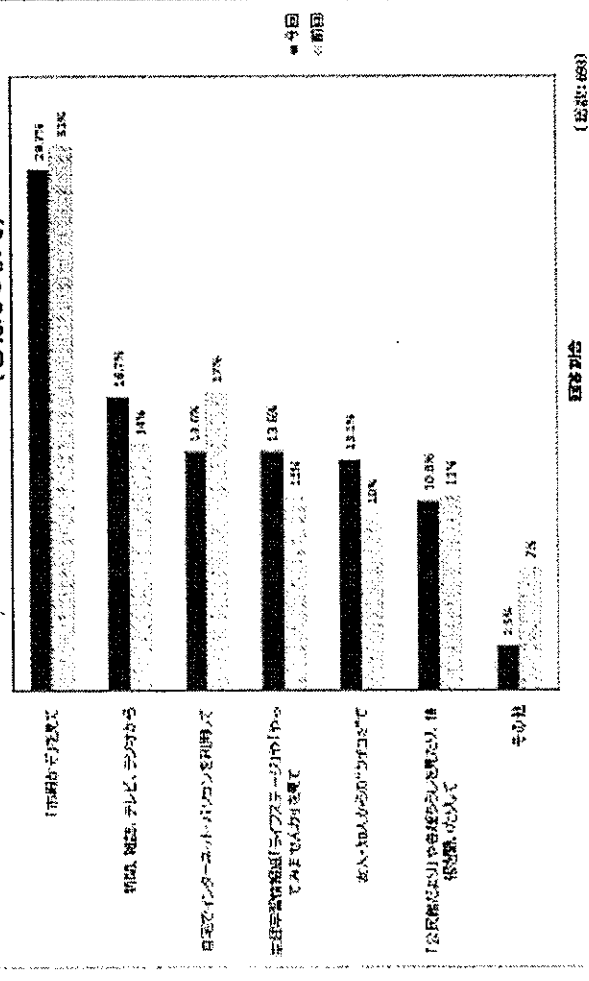
問3 学習情報・学習相談について

問3 学習情報・学習相談について

(1) 生涯学習に関する情報収集について
生涯学習に関する情報収集は、『市報かぞ』が29.7%と最も高い結果となり、「生涯学習情報紙『ライフステージ』や『やってみませんか』(13.6%)」が5位から3位へと順位をあげ、情報誌の活用率が向上したことが分かります。

回 答 項 目	構成比	順 位	前 回
「市報かぞ」を見て	29.7%	1位	1位
新聞、雑誌、テレビ、ラジオから	16.7%	2位	3位
自宅でインターネット・パソコンを利用して	13.6%	3位	2位
生涯学習情報紙「ライフステージ」や「やってみませんか」を見て	13.6%	3位	5位
友人・知人からの「クチコミ」で	13.1%	5位	6位

あなたは、生涯学習に関する情報をどのように収集していますか。
(〇は3つまで)

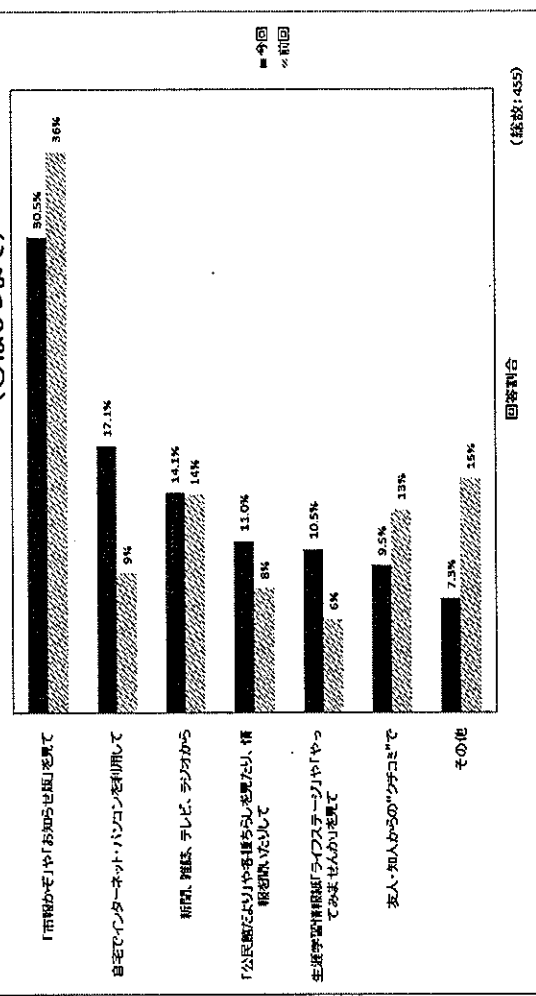


(1) 生涯学習に関する情報収集について

生涯学習に関する情報収集は、『市報かぞ』や『お知らせ版』を見て」が30.5%と最も高い結果となり、パソコンやスマートフォンの普及により「自宅でインターネット・パソコンを利用して」(17.1%)が前回の5位から2位へと順位をあげました。「生涯学習情報誌『ライフステージ』や『やってみませんか』を見て」(10.5%)は教育委員会の発行する情報紙ですが、まだまだ活用率は低い結果となっています。

回 答 項 目	構成比	順 位	前 回
「市報かぞ」や「お知らせ版」を見て	30.5%	1位	1位
自宅でインターネット・パソコンを利用して	17.1%	2位	5位
新聞、雑誌、テレビ、ラジオから	14.1%	3位	2位
「公民館だより」や各種ちらしを見たり、情報を聞いたりして	11.0%	4位	6位
生涯学習情報紙「ライフステージ」や「やってみませんか」を見て	10.5%	5位	4位

あなたは、生涯学習に関する情報をどのように収集していますか。
(〇は3つまで)

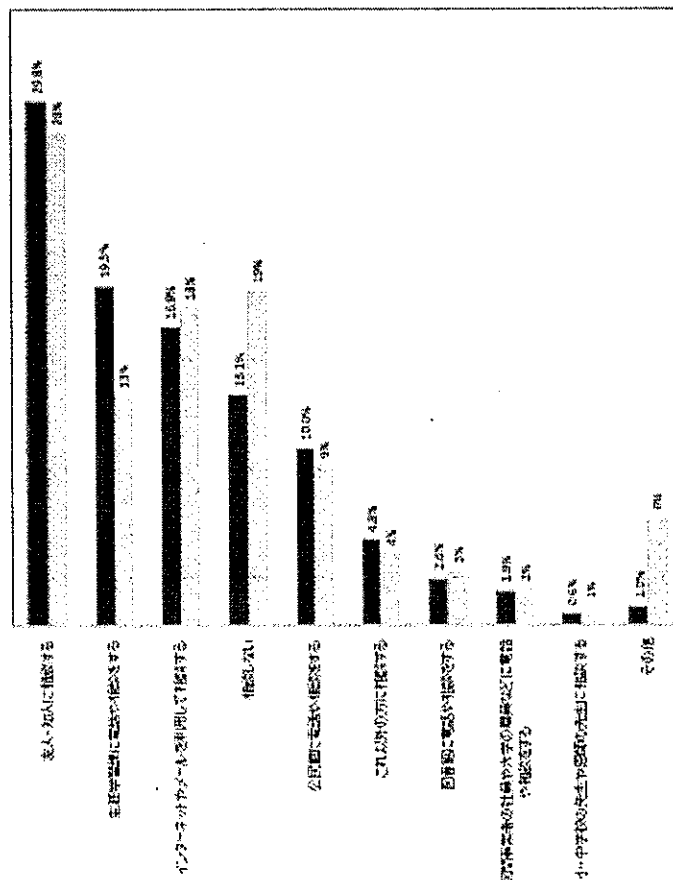


(2) 生涯学習に関する相談について

相談方法は、「友人・知人に相談する」(29.8%)が最も高い値となりました。「生涯学習課に電話や相談をする」が4位から2位へと順位をあげ、「相談しない」の順位が2位から4位へと順位を下げました。

回 答 項 目	構 成 比	順 位	前 回
友人・知人に相談する	29.8%	1位	1位
生涯学習課に電話や相談をする	19.3%	2位	4位
インターネットやメールを利用して相談する	16.9%	3位	3位
相談しない	13.1%	4位	2位
公民館に電話や相談をする	10.0%	5位	5位

あなたは、生涯学習に関して相談したいとき、どのような方法を取りますか。
(○は3つまで)



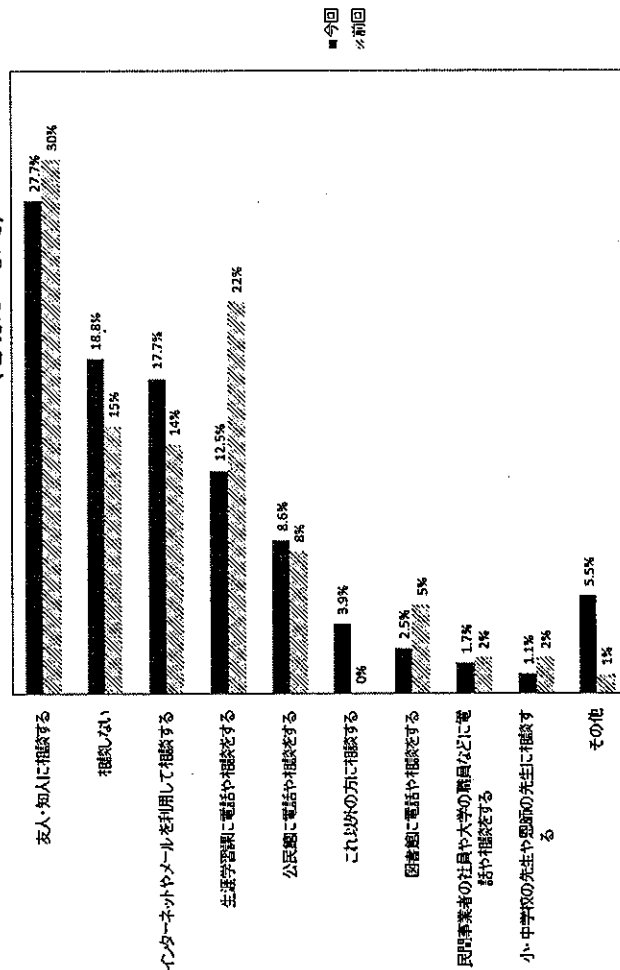
(2) 生涯学習に関する相談について

相談方法は、「友人・知人に相談する」(27.7%)が最も高い値となりましたが、「相談しない」という方も18.8%いることが分かります。

また、前回の調査では項目になかった「インターネットやメールを利用して相談する」(17.7%)が3位という結果になりました。

回 答 項 目	構 成 比	順 位	前 回
友人・知人に相談する	27.7%	1位	1位
相談しない	18.8%	2位	3位
インターネットやメールを利用して相談する	17.7%	3位	4位
生涯学習課に電話や相談をする	12.5%	4位	2位
公民館に電話や相談をする	8.6%	5位	5位

あなたは、生涯学習に関する情報をどのように収集していますか。
(○は3つまで)

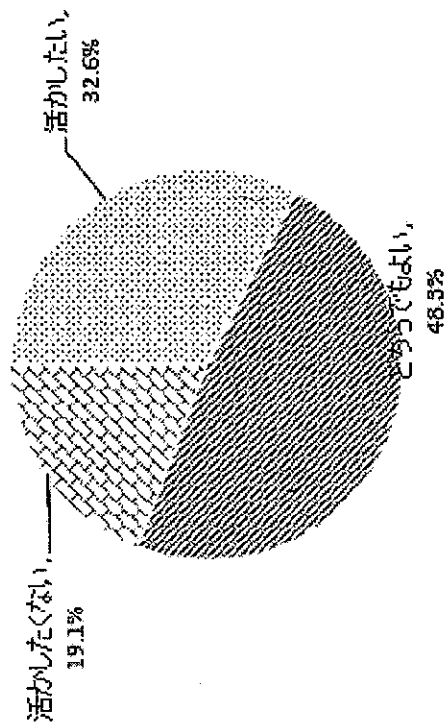


問4 学習成果について

「活かしたい」(32.6%)、「どちらでもよい」(48.3%)を併せると8割の方が、学習成果を活かすことができる場があれば、活躍できると推測されます。

	回答数	構成比
活かしたい	104	32.6%
どちらでもよい	154	48.3%
活かしたくない	61	19.1%
合計	319	100.0%

生涯学習で身につけた知識や技術等の学習成果を何らかの方法で活かしたいと考えますか。
(○は1つ)

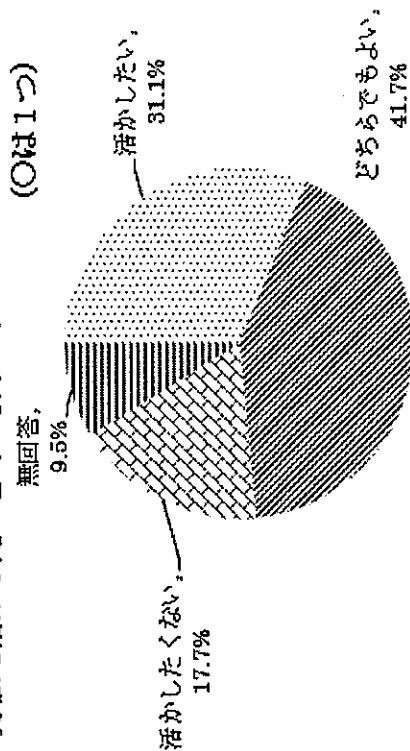


問4 学習成果について

「活かしたい」(31.1%)、「どちらでもよい」(41.7%)を併せると7割の方が、学習成果を活かすことができる場があれば、ご活躍いただけると考えられます。

	回答数	構成比
活かしたい	88	31.1%
どちらでもよい	118	41.7%
活かしたくない	50	17.7%
無回答	27	9.5%
合計	283	100.0%

生涯学習で身につけた知識や技術などの学習成果を何らかの方法で活かしたいと考えますか。
(○は1つ)

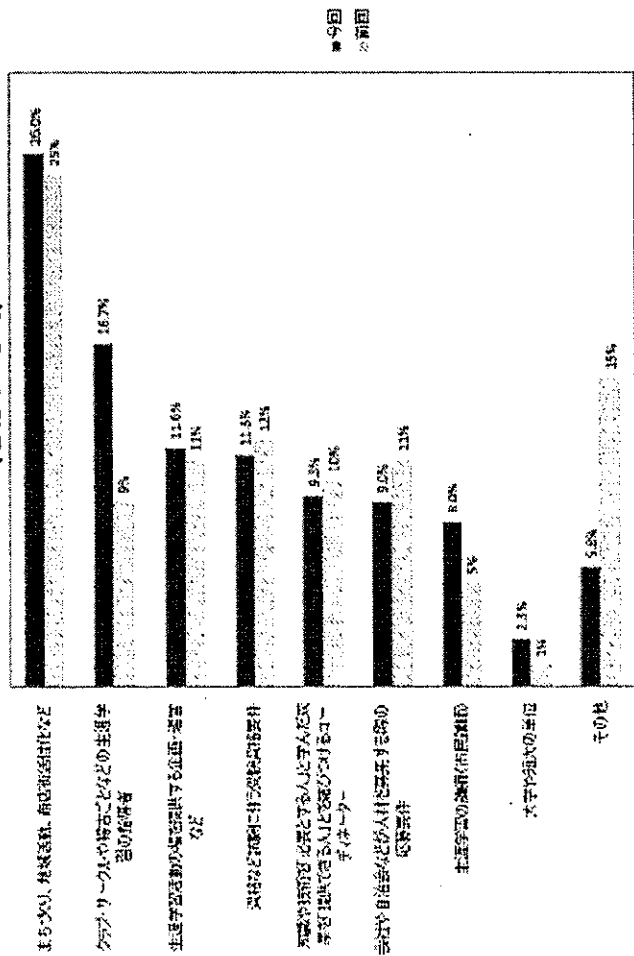


①学習成果の活かし方について（「活かしたい」「どちらでもよい」の回答者）

学習成果の活かし方としては、「まちづくり、地域活動、商店街活性化など」（26.0%）が最も高い値となり、「クラブ・サークルや稽古ごとなどの生涯学習の指導者」（16.7%）、「生涯学習活動の場を提供する企画・運営など」（11.6%）のように、趣味や習い事のために活かすという考え方も強くあるようです。

回 答 項 目	構成比	順位	前回
まちづくり、地域活動、商店街活性化など	26.0%	1位	1位
クラブ・サークルや稽古ごとなどの生涯学習の指導者	16.7%	2位	6位
生涯学習活動の場を提供する企画・運営など	11.6%	3位	3位
資格など試験に伴う受験資格要件	11.3%	4位	2位
知識や技術を「必要とする人」と学んだ成果を「提供できる人」とを結びつけるコーディネーター	9.3%	5位	5位

どのような活かし方がよいと思いますか。
（〇は3つまで）



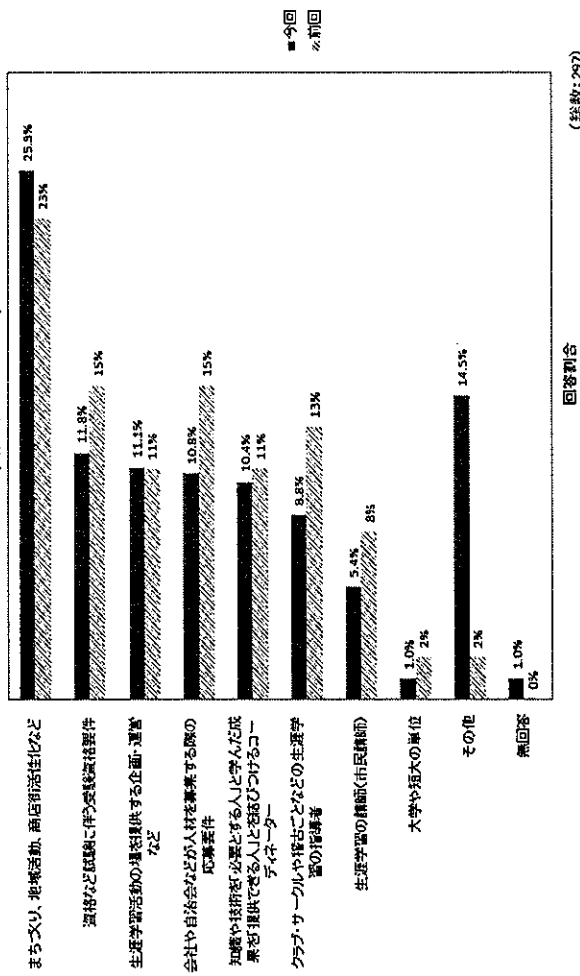
(総数: 350)

①学習成果の活かし方について（「活かしたい」「どちらでもよい」の回答者）

学習成果の活かし方としては、「まちづくり、地域活動、商店街活性化など」（25.3%）が最も高い値となり、「資格など試験に伴う受験資格要件」（11.8%）、「会社や自治会などが人材を募集する際の応募要件」（10.8%）のように、資格試験や就職のために活かすという考え方も強くあるようです。

回 答 項 目	構成比	順位	前回
まちづくり、地域活動、商店街活性化など	25.3%	1位	1位
資格など試験に伴う受験資格要件	11.8%	2位	2位
生涯学習活動の場を提供する企画・運営など	11.1%	3位	6位
会社や自治会などが人材を募集する際の応募要件	10.8%	4位	3位
知識や技術を「必要とする人」と学んだ成果を「提供できる人」とを結びつけるコーディネーター	10.4%	5位	5位

どのような活かし方がよいと思いますか。
（〇は3つまで）



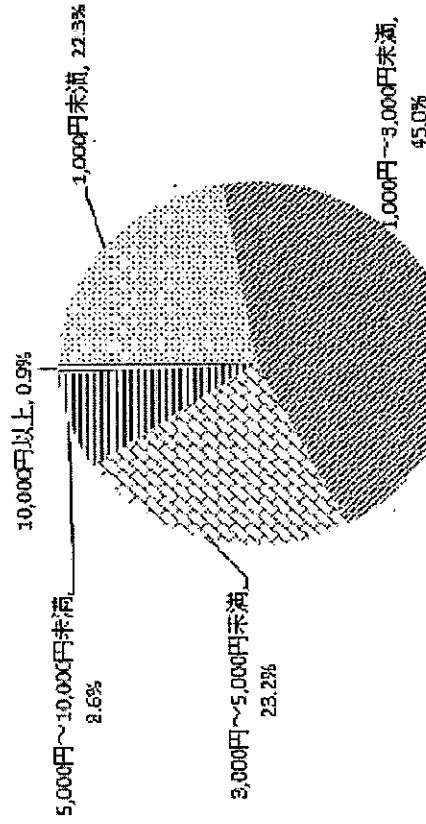
(総数: 297)

問5 学習費用について

(1) 生涯学習活動（サークルやクラブなど）を行うにあたり、1か月あたりの自己負担について
1か月あたりの自己負担できる金額としては、「1,000円～3,000円未満」（45.0%）が最も多く、次いで「3,000円～5,000円未満」（23.2%）となりました。

回 答 項 目	回 答 数	構 成 比
1,000円未満	73	22.3%
1,000円～3,000円未満	147	45.0%
3,000円～5,000円未満	76	23.2%
5,000円～10,000円未満	28	8.6%
10,000円以上	3	0.9%
合 計	327	100.0%

1か月あたりの自己負担できる金額

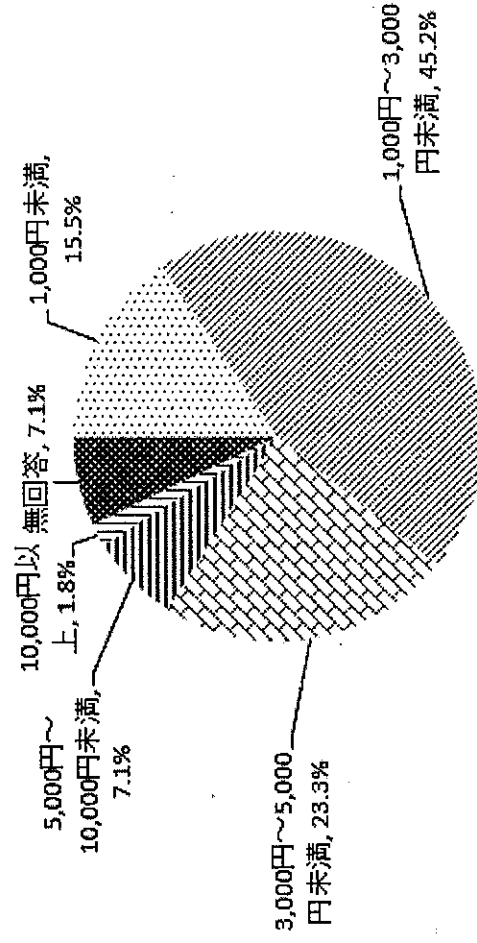


問5 学習費用について

(1) 生涯学習活動（サークルやクラブなど）を行うにあたり、1か月あたりの自己負担について
1か月あたりの自己負担できる金額としては、「1,000円～3,000円未満」（45.2%）が最も多く、次いで「3,000円～5,000円未満」（23.3%）となりました。

回 答 項 目	回 答 数	構 成 比
1,000円未満	44	15.5%
1,000円～3,000円未満	128	45.2%
3,000円～5,000円未満	66	23.3%
5,000円～10,000円未満	20	7.1%
10,000円以上	5	1.8%
無回答	20	7.1%
合 計	283	100.0%

1か月あたりの自己負担できる金額



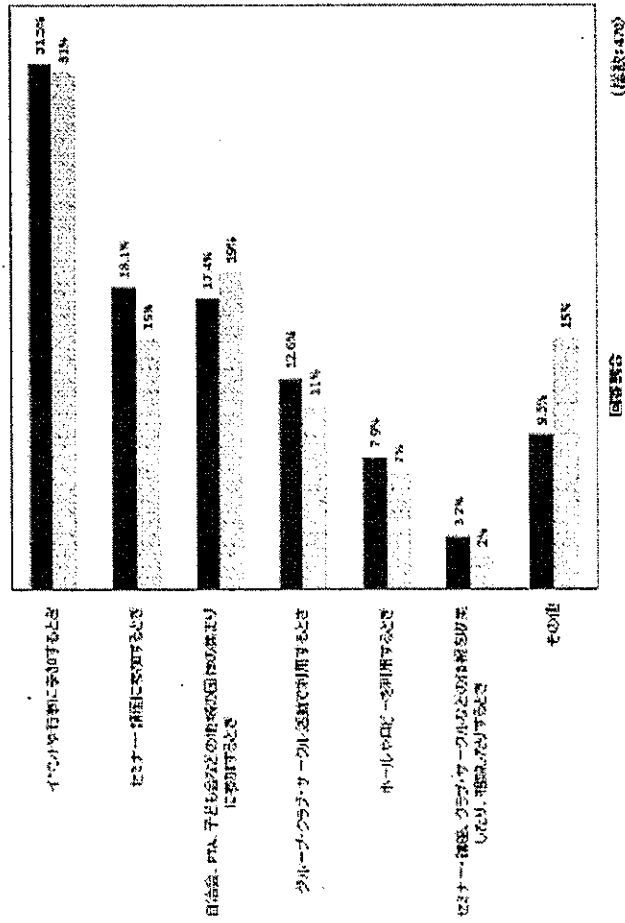
問6 公民館や文化・学習センターの利用について

公民館や文化・学習センターを利用する状況としては、「イベントや行事に参加するとき」の31.5%が最も多く、「グループ・クラブ・サークル活動で利用するとき」は12.6%にとどまっています。

回 答 項 目	構 成 比	順 位	順 位
イベントや行事に参加するとき	31.5%	1位	1位
セミナー・講座に参加するとき	18.1%	2位	3位
自治会、PTA、子ども会などの地域の団体の集まりに参加するとき	17.4%	3位	2位
グループ・クラブ・サークル活動で利用するとき	12.6%	4位	4位
ホールやロビーを利用するとき	7.9%	5位	5位

あなたは、どのようときに公民館や文化・学習センターを利用していますか。

(○は2つまで)

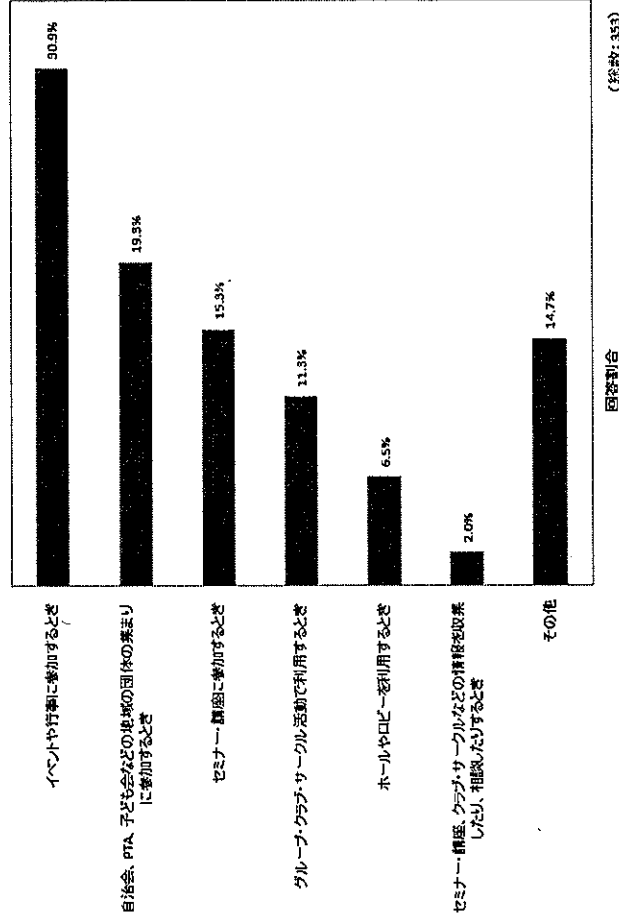


問6 公民館や文化・学習センターの利用について
公民館や文化・学習センターを利用する状況としては、「イベントや行事に参加するとき」(30.9%)、が最も多く、「グループ・クラブ・サークル活動で利用するとき」は11.3%にとどまり、市民のサークル活動の場としては、公民館や文化・学習センターはまだ定着していないと考えられます。

回 答 項 目	構 成 比	順 位
イベントや行事に参加するとき	30.9%	1位
自治会、PTA、子ども会などの地域の団体の集まりに参加するとき	19.3%	2位
セミナー・講座に参加するとき	15.3%	3位
グループ・クラブ・サークル活動で利用するとき	11.3%	4位
ホールやロビーを利用するとき	6.5%	5位

あなたは、どのようときに公民館や文化・学習センターを利用していますか。

(○は2つまで)



第3章 生涯学習を推進するうえでの今後の課題

1 学習情報の発信・充実

新たな生涯学習情報の発信手段として、SNSなどのソーシャルメディアを活用し、最新の情報を発信することが求められている中で、調査結果では約5割の方が『市報かぞ』、生涯学習情報紙『ライフステージ』、『やってみませんか』などの紙媒体から情報の収集を行っており、現行の発信方法を含めた情報の発信の充実を図る必要があります。

また、生涯学習活動にあたっての学習方法については、約3割の方が「本・ラジオ・テレビによる個人学習」を行っていることから、生涯学習に関する情報を数多く発信することが生涯学習を始めるきっかけになり、学習活動のすそ野を広げることにつながることから、今後は、関係部署が連携し、学習活動において必要とされる情報を収集・整理して提供していく必要があります。

2 学習機会の整備・充実

学習上の問題として、「時間的余裕、やりくり」、「日程上の問題」と答えた方が約4割にあたり、時間的・日程的な問題があり、特に働く世代にとっては、学習機会が十分に確保されているとはいえない状況です。

市民が求める生涯学習のニーズは多様化しており、生涯学習活動への参加意欲が潜在的に多い状況において、市民ニーズに沿った学習機会を提供すること、継続的に取り組む市民を増やす必要があります。

また、セミナー・講座に期待するものについては、「健康上のこと（17.8%）」など高い数値の項目から「ごみやリサイクル、地球温暖化などの環境問題（4.1%）」や「子育てや教育（4.0%）」など多岐にわたり、ニーズの多様化を考慮したテーマにて学習機会を提供する必要があります。

さらに、携帯情報端末やインターネットの普及による「読書離れ」が指摘される中、子どもから大人まで幅広い世代で読書が身近なものとなり、習慣化するような環境づくりが必要です。

第3章 生涯学習を推進するうえでの今後の課題

1 学習情報の収集と提供の充実

約3割の方が、『市報かぞ』や『おしらせ版』とした紙媒体から情報を得ています。しかし、近年の情報化の進展によりインターネット通信を利用したスマートフォン等の新しい媒体を利用して情報を得る方が、前回からかなり増加しております。

そして、市民が様々な情報からいつでもどこでも欲しい情報を入手できるよう、適切な学習情報の収集と提供を行う必要があります。

2 学習相談体制の整備・充実

市民の学習ニーズは、高度化・多様化しており、個人のライフスタイルによって異なります。セミナーや公民館で講座を開催する以外に、様々な学習ニーズに対応できるよう、市内の各種団体・サークルの活動状況を把握して情報提供をして、人と人を繋ぐ学習相談体制を整備して充実させていくことが重要であり、必要となります。

また、生涯学習を行う上での問題について、「時間的余裕、やりくり」や「日程の問題」といった回答が全体の4割となっております。これは、生涯学習の機会が必ずしも十分に確保されているとはいえない状況です。

こうした状況にも配慮をし、市民のニーズにあう十分な情報提供ができる体制が必要となります。

3 市民のニーズに対応した学習機会の充実

セミナー・講座に期待することとして、「健康上のこと」「生き方、人生、生きがいについて」といった社会的な課題が上位を占めております。

地域における人材や施設資源を共有し、有効な学習機会をさらに充実し、市民のニーズや社会状況に合った学習機会を提供していく必要があります。

3 学習成果の活用

生涯学習活動で身につけた知識や技術などの学習成果について、「活かしたい」という方が、「活かしたくない」とする方より1.7倍の回答があるため、市民の豊かな知識や経験を伝える場を整える必要があります。また、その活かし方については、「まちづくり、地域活動、商店街活性化など」が26.0%、「生涯学習活動の場を提供する企画・運営など」が11.6%と地域のために学習成果を活かしたいという数値が高いことがわかります。

自分自身のために、自分らしく生きるために学ぶことは大切なことです。シニア世代をはじめとする市民の豊かな知識や経験を地域の皆さんに伝え広めるなど、地域で活躍していただく場を提供することも必要です。

4 生涯学習関連施設の有効活用

公民館、文化・学習センター、市民プラザ、コミュニティセンター、加須未来館、郷土資料館、図書館などの生涯学習関連施設の利用を促進し、市民の学習環境の充実が必要です。

また、誰もが幅広く利用ができるよう公民館のコミュニティセンターを進めて地域活動の拠点として重要な役割を果たすとともに、引き続き学習講座を充実させることで、市民に身近な生涯学習活動の場を充実させることが必要です。

5 地域教育力の向上

子どもたちが心豊かに健やかに育つためには、子どもたちが地域とかかわりながら、地域の特徴を生かした社会体験活動に参加をしたり、子どもの保護者（PTA）同士が交流することなどが重要です。そこで、家庭・学校・地域が連携し、地域の教育力を高め、家庭・地域・学校が一体となって子どもを育てる環境を充実させることが必要です。

また、子どもの豊かな人格形成を育むうえで、家庭教育は、重要な役割を果たしており、家庭の教育力を高めるために、今後も社会全体で家庭教育を支援し、家庭の教育力の向上を推進していく必要があります。

さらに、学校、家庭、地域及び関係機関が青少年の健全育成支援に関わることで、子どもたちの健やかな成長・自立を促すために、家庭教育及び青少年健全育成に関する施策を充実していくことも必要です。

4 学習成果の活用

学習成果を「活かしたい」「どちらでもよい」と回答した方に対して、「どのような活かし方がよいと思いますか」という設問では、「まちづくり、地域活動、商店街活性化など」(25.3%)、「生涯学習活動の場を提供する企画・運営」(11.1%)、「知識や技術を必要とする人」と学んだ成果を「提供できる人」とを結びつけるコーディネート」(10.4%)となり、地域のために学習成果を活かすことが高い数値となっています。

そのため、学習成果を活かすことができる活躍の場を提供することが求められます。

5 市民活動の推進

生涯学習を行うことは、地域社会への参加のきっかけにもなり、地域を知り、郷土愛を育むことになります。

こうした郷土愛の醸成が、地域の力を高め、地域に住む市民の活動を活発にし、市民の誰もがまちづくりに主体的に参加できる取り組みに繋がっていきます。今後も、市民活動を行えるように情報提供や相談体制の充実を図り、各種施策を推進することが必要です。

6 文化財の保存と活用

私たちは、これまでに革新的な生活様式や生産技術の向上により、便利で快適な暮らしを獲得してきましたが、その反面これまでの生活を形作ってきた伝統的な文化や郷土史料が失われてしまっています。

そのため、現在に残る貴重な伝統行事や歴史・民俗資料を調査し、保護し保存する取り組みが求められています。さらに郷土資料館やインターネット等を活用し、文化財の普及を行い郷土意識を醸成する必要があります。これらの取組は所有・継承者である市民と協働し、還元していく必要があります。

6 郷土愛を醸成する文化財の保存と活用

本市には、これまで培ってきた生活文化や歴史的資源、魅力などが数多く残されていることから、郷土の文化や伝統を次世代に継承することが必要です。また、文化財は、貴重な郷土の自然・風土・歴史を理解するために欠かせないものです。

国の重要無形民俗文化財「玉敷神社神楽」、県の天然記念物「加須の浮野とその植物」、市の天然記念物「オニバス自生地」や記念物「利根川堤防決潰口跡および記念碑」などこれら貴重な文化財に対し、市民が親しみをもち、身近に活用ができるよう調査研究と保存に努める必要があります。

このため、市民の郷土に対する理解を深め、郷土愛の醸成を図るために、郷土の文化や伝統を次世代に継承するとともに、文化財の公開・展示や説明板の設置など、貴重な文化財を広く紹介し、文化財の活用を通じた地域活性化に努めることも必要です。

第4章 基本理念と基本目標

国では、平成18年度改正の教育基本法第3条において、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない」と生涯学習の理念をうたっています。

埼玉県では、平成25年3月に「埼玉県生涯学習推進指針」を策定し、10年先を見据えた生涯学習社会「学び合い、共に支える社会」を目標とし、「学びを支える」、「学び合いを支える」、「学びの成果の活用を支える」の3つの指針を掲げています。

本市では、計画の上位計画である「第2次加須市総合振興計画」の5つのまちづくりの基本目標の1つである「未来へつなぐ人を育むまちづくり」と「第2次加須市人づくりプラン」の基本理念「家族・地域の絆を大切に、生きる力を醸成する」及び基本目標の1つである「生涯にわたる学びの支援や芸術文化の振興」を踏まえ、これからの社会環境の変化への対応が可能なように、10年・20年先の未来へつなぐ生涯学習による人づくりを目指して、「学びから未来へつなぐ人づくり」を基本理念とします。

ライフスタイルや価値観の多様化により、オンライン講座やYou Tubeなどにて配信するなど市民一人ひとりの学習ニーズに応じた学習機会を提供するとともに、市民が生涯学習活動で学んだ知識や経験を地域社会に活かせる仕組みを整え、市民の生涯学習活動を推進します。

生涯学習の場として、生涯学習関連施設が連携し、それぞれの機能を生かした幅広い事業展開を推進して市民の学習機会を充実します。

市民の誰もが幅広く利用ができるよう公民館のコミュニティセンター化を推進し、地域活動の拠点として、また市民に身近な生涯学習活動の場を充実します。

第4章 基本理念と基本目標

基本理念 豊かな心を育む生涯学習による生きがいづくり

本市は、豊かな自然、農業、商業、企業、多くの歴史・文化的資源、そして豊かな経験・知識・技能をもつ市民が多く存在します。

本計画の上位計画である「加須市総合振興計画」で位置づけている、6つの「まちづくりの基本目標」の1つである「健やかで豊かな心を育むまちづくり」を目標に、「加須市人づくりプラン」も踏まえ、人とまちが元氣と活力にあふれる生涯学習社会を実現させることのできる加須市を目指して、「豊かな心を育む生涯学習による生きがいづくり」を基本理念とします。

基本目標1 生涯学習活動の促進

文化・学習センター、公民館、加須未来館、図書館などの生涯学習施設を有効活用し、生涯学習に取り組みやすい環境の整備を図るとともに、市民活動ステーションを拠点とする市民活動団体とも連携を図りながら、市民一人ひとりがそれぞれの年代やライフスタイルに応じて学習した成果を地域社会に活かせる仕組みを整え、市民の生涯学習活動を促進します。

基本目標2 芸術文化の振興と郷土愛の醸成

市民一人ひとりが、豊かな感性・創造力をもった芸術文化の振興を図るため、自主的な芸術文化活動・交流活動を支援します。
また、郷土の偉人を顕彰することにより、「ふるさと加須市」への誇りや愛着心を育み、市民の郷土愛の醸成を図ります。

基本目標3 文化財の保存・活用

加須市の歴史・伝統への市民の理解を深めるため、貴重な文化財の保存・活用を図るとともに、郷土芸能伝承の支援や市内文化財情報の発信を推進します。

基本目標4 図書館サービスの充実

図書館サービスの向上に関する市民の多様なニーズに対応するため、図書館資料・情報の収集・提供に努め、市民一人ひとりの生涯にわたる自主的、自発的な学習をはじめ、地域の課題解決や地域振興を支える知の拠点として図書館サービスの充実を図ります。

市民一人ひとりの豊かな感性・創造力をもった芸術文化の振興を図るため、青少年・高齢者・障がい者をはじめあらゆる市民の主体的な文化創作活動を支援するとともに、市民の誰もが優れた芸術文化に触れる機会の充実に努めます。

また、郷土の偉人を顕彰することにより、市民が地域の一員であることを再認識し、「ふるさと加須市」への誇りや愛着心を育みます。

郷土加須市の歴史を伝える文化財を適切に保存し、次世代へ継承します。

考古資料は騎西郷土史料展示室（騎西城）を核とした施設に集約し、水辺に関する民俗資料は北川辺郷土資料館を核とした施設に集約して保存し、展示公開します。

また、民俗芸能の伝承支援や文化財、歴史資料の調査・公開・展示を行うことで、市民が文化財に親しみ、その価値を深めていけるよう取り組むとともに、郷土愛の醸成と地域の活性化を図ります。

子どもが自主的な読書活動ができる環境を整備し、読書のきっかけづくりや読書活動の習慣化を図り、子どもの読書活動がより一層活発になるような取り組みを推進します。

また、読書活動に関する市民の多様なニーズに対応するため、他の公共図書館との連携・協力を図りながら、市民の読書活動を推進します。

学校・家庭・地域及び関係機関の連携を図り、青少年団体の育成、家庭教育の充実及び青少年活動を支援することにより、地域の教育力の向上を推進します。

また、家庭・学校・職場・地域社会等の様々な場面で起こりうる人権問題の解決のために、人権教育や啓発活動を行い、差別や偏見のない人権尊重の社会の実現を目指します。

第5章 施策の体系

施策の体系図

基本目標1 生涯学習活動の推進

— 施策1

生涯学習機会の充実

- (1) 生涯学習情報の総合的収集・提供事業
- (2) 生涯学習推進計画進行管理事業
- (3) 生涯学習きつかけづくり支援事業
- (4) 市民学習カレッジ事業
- (5) シニアいきいき大学事業
- (6) 生涯学習フェスティバル開催事業
- (7) 各種協力団体との連携によるイベント等の実施
- (8) 大学との交流事業促進
- (9) 地域市民活動促進事業
- (10) 環境学習推進事業

— 施策2

生涯学習環境の整備・充実

- (1) コミュニティセンター管理運営事業
- (2) 公民館管理運営事業
- (3) 集会所管理運営事業
- (4) 余裕教室等活用事業
- (5) 文化・学習センター管理運営事業
- (6) 加須未来館管理運営事業
- (7) 田々谷総合センター管理運営事業

第5章 施策の体系

施策の体系図

基本目標1 生涯学習活動の促進

— 施策1

生涯学習機会の充実

- (1) 生涯学習情報の総合的収集・提供事業
- (2) 生涯学習推進計画進行管理事業
- (3) 生涯学習きつかけづくり支援事業
- (4) 市民学習カレッジ事業
- (5) 環境学習推進事業
- (6) 高齢者・女性・人権教育学級開催事業
- (7) 生涯学習フェスティバル開催事業
- (8) 地域市民活動促進事業
- (9) 各種協力団体との連携によるイベント等の実施
- (10) 大学との交流事業促進
- (11) シニアいきいき大学事業

— 施策2

生涯学習環境の整備・充実

- (1) 公民館管理運営事業
- (2) コミュニティセンター管理運営事業
- (3) 文化・学習センター管理運営事業
- (4) 加須未来館管理運営事業
- (5) 集会所管理運営事業
- (6) 余裕教室等活用事業
- (7) 学校体育施設開放管理運営事業

基本目標2 芸術文化の振興と郷土愛の醸成

— 施策1

芸術文化活動の振興

- (1) 地域文化振興事業
- (2) 地区文化祭振興事業
- (3) まちかど美術館推進事業
- (4) 加須市郷土かるた大会開催事業

基本目標2 芸術文化の振興

施策1 芸術文化活動の振興

- (1) 地域文化振興事業
- (2) 地区文化祭振興事業
- (3) 加須市郷土かるた大会開催事業
- (4) 文化・学習センター芸術文化振興事業

施策2 「加須の偉人」の顕彰

- (1) 偉人顕彰事業

基本目標3 文化財の保存継承による郷土愛の醸成

施策1 文化財の積極的な保存・活用の推進

- (1) 文化財の保存と活用による地域活性化事業
- (2) 騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業
- (3) 加須インターネット博物館管理運営事業
- (4) 伝統文化継承支援事業
- (5) 指定文化財の調査・保護事業
- (6) 発掘調査報告書の刊行事業
- (7) 文化財の普及・啓発事業
- (8) トキソウの保護・増殖事業
- (9) オニバス保護活用事業

施策2 「加須の偉人」の顕彰

- (1) 偉人顕彰事業

基本目標3 文化財の保存・活用

施策1 文化財の積極的な保存・活用の推進

- (1) 騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業
- (2) 加須インターネット博物館管理運営事業
- (3) 伝統文化継承支援事業
- (4) 指定文化財の調査・保護事業
- (5) 発掘調査報告書の刊行事業
- (6) 文化財の普及・啓発事業
- (7) トキソウの保護・増殖事業
- (8) オニバス保護活用事業

基本目標4 図書館サービスの充実

施策1 図書館資料の充実と図書館ネットワークの推進

- (1) 図書館資料整備事業
- (2) 図書館管理運営事業
- (3) 図書館まつり開催事業

施策2 子ども読書活動の推進

- (1) 子ども読書活動推進計画進行管理事業
- (2) 絵本との親子ふれあい事業
- (3) ブックトーク・おはなし会開催事業

基本目標4 読書活動の推進

- ― 施策1 子どもの読書活動の推進
 - ― (1) 絵本との親子ふれあい推進事業
 - ― (2) ブックトーク・おはなし会開催事業
- ― 施策2 市民の読書活動の推進
 - ― (1) 読書活動支援事業
 - ― (2) 図書館管理運営事業
 - ― (3) 図書館まつり開催事業

基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組の推進

- ― 施策1 家庭教育の支援
 - ― (1) 家庭の学びと地域の絆推進事業
- ― 施策2 青少年の健全育成
 - ― (1) 青少年健全育成事業
 - ― (2) 成人式開催事業
- ― 施策3 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進
 - ― (1) まちかど美術館推進事業
 - ― (2) あいさつふれあい推進事業
 - ― (3) 子どもの居場所づくり事業
 - ― (4) かぞ子ども大学事業
- ― 施策4 人権教育の推進
 - ― (1) 高齢者・女性・人権教育学級開催事業
 - ― (2) 人権教育推進事業

第6章 基本目標の実現に向けた施策

第6章 基本目標の実現に向けた施策

基本目標1 生涯学習活動の促進

基本目標1 生涯学習活動の促進

施策1 生涯学習機会の充実

施策1 生涯学習機会の充実

市民の学習参加のきっかけづくりと学習活動を支援するため、市民学習カレッジセミナーや生涯学習セミナー（講座）の充実を図ります。

市民への学習参加のきっかけづくりと活動を支援するため、市民学習カレッジセミナーや生涯学習セミナー（講座）の充実を図ります。

また、60歳以上の市民の学習ニーズに応えるとともに、その力を社会に活かし、長寿社会を明るく活力に満ちたものとするため、平成国際大学と連携して、加須市シニアいきいき大学の充実を図ります。

また、60歳以上の市民の学習ニーズに応えるとともに、その力を社会に活かし、高齢社会を明るく活力に満ちたものとするため、シニアいきいき大学の充実を図ります。

事業名	生涯学習情報の総合的収集・提供事業	担当課	生涯学習課
取組内容	関係各課と連携し情報の提供を行い、生涯学習の学習機会（市民学習カレッジ、シニアいきいき大学等）、クラブ・サークル情報、各種イベント情報、市民の学習成果などを掲載した情報紙を作成し、広く市民に周知（金戸配布）し、学習情報を提供する。 また、ホームページを一層充実させることにより、積極的な情報提供を行うことで、市民との情報の共有を図る。 さらに、市内で活動しているクラブ・サークルの活動情報を収集・管理し、希望者に情報の提供を行う。		
指標	指標名	現状値(元7)	取組方向
	生涯学習情報紙年間発行数		掲載内容の充実を図る。（やってみませんか12、ライブステージ1）
	ホームページ更新回数		出来るだけ、分かり易くさまざまな情報を掲載する。
	クラブ・サークル登録団体数		サークル化、活動の支援及びクラブ・サークル活動情報の収集・整理・管理を行う。

事業名	生涯学習情報の総合的収集・提供事業	担当課	生涯学習課
取組内容	関係各課と連携し情報の提供を行い、生涯学習の学習機会（市民学習カレッジ、シニアいきいき大学等）、クラブ・サークル情報、各種イベント情報、市民の学習成果などを掲載した情報紙を作成し、広く市民に周知（金戸配布）し、学習情報を提供する。 また、ホームページを一層充実させることにより、積極的な情報提供を行うことで、市民との情報の共有を図る。 さらに、市内で活動しているクラブ・サークルの活動情報を収集・管理し、希望者に情報の提供を行う。		
指標	指標名	現状値(H28)	目標値(H32)
	生涯学習情報紙年間発行数	13	13
	ホームページ更新回数	34	36
	クラブ・サークル登録団体数	393	458

事業名	生涯学習推進計画進行管理事業			担当課	生涯学習課
取組内容	生涯学習の基本施策や生涯学習事業の推進等に関し、生涯学習に関する市民団体や関係機関等と協議を行うため、生涯学習推進会議を開催する。				
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法	
	生涯学習推進会議の会議開催数			各委員からの意見等を踏まえ、適切な進管理を行う。	

事業名	生涯学習推進計画進行管理事業			担当課	生涯学習課
取組内容	生涯学習の基本施策や生涯学習事業の推進等に関し、生涯学習に関する市民団体や関係機関等と協議を行うため、生涯学習推進会議を開催する。				
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法	
	生涯学習推進会議の会議開催数	0	2	各委員からの意見等を踏まえ、適切な進管理を行う。	

事業名	生涯学習きっかけづくり支援事業			担当課	生涯学習課
取組内容	学習活動の深まりを目的に、市民の学習のきっかけづくりを支援する。公民館や各文化・学習センターにおいて、地域の課題をテーマとした学習機会や世代間交流を考慮しながら、地域住民の学習ニーズに対応した講座を開催する。 また、市民ボランティアである生涯学習市民企画委員と協働し、生涯学習セミナー（講座）やイベントの企画運営、地域社会を通じた学習成果活用による、市民の自己実現活動を支援する。 さらに、各種セミナー（講座）やイベントでは登録のある市民講師の積極的な活用を行う。				

指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法
	公民館講座及び各種セミナー受講者延べ人数	11,790	15,000	必要性の高いセミナー（講座）を取り入れ、受講者数の増加を図る。
	生涯学習市民企画委員数	15	19	生涯学習市民企画委員を募集し、増員を図る。
	市民講師登録者数	302	350	登録者数の増加及び活用の促進を図る。
	職員提案数	4	14	庁内職員が、セミナー企画書を作成し、市民や地域の学習ニーズへの対

事業名	生涯学習きっかけづくり支援事業	担当課	生涯学習課	
取組内容	学習活動の深まりを目的に、市民の学習のきっかけづくりを支援する。公民館や各文化・学習センターにおいて、地域の課題をテーマとした学習機会や世代間交流を考慮しながら、地域住民の学習ニーズに対応した講座を開催する。また、市民ボランティアである生涯学習市民企画委員と協働し、生涯学習セミナー（講座）やイベントの企画運営、地域社会を通じた学習成果活用による、市民の自己実現活動を支援する。 さらに、豊かな知識や経験を有する市民に市民講師になって地域で活躍していただくとともに、各種セミナー（講座）やイベントで市民講師の積極的な活用を行う。			
指標	指標名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法
	公民館講座及び各種セミナー受講者延べ人数			必要性の高いセミナー（講座）を取り入れ、受講者数の増加を図る。
	生涯学習市民企画委員数			生涯学習市民企画委員を募集し、増加を図る。
	市民講師登録者数			登録者数の増加及び活用の促進を図る。
	職員提案数			庁内職員が、セミナー企画書を作成し、市民や地域の学習ニーズへの対応を図る。

事業名	市民学習カレッジ事業			担当課	生涯学習課
取組内容	公民館や各文化・学習センター等と連携し、「きっかけづくりセミナー」「趣味的セミナー」「現代的・社会的課題セミナー」「まなびのセミナー」を総合的に取入れた幅広いセミナーを実施する。				
	また、市民の多様なニーズに応えるため、学習相談機能及び体制の充実を図り、積極的なPRを行う。				
指標	学習成果の活かし方や生涯学習コーディネーターとしてのあり方に関する研修会等を開催し、学習成果を活用し、地域に還元できる環境を作る。				
	指標名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法	
	市民学習カレッジ セミナー受講者延 べ人数	2,985	4,050	セミナー内容の充 実、関係部署と連 携を図り、受講者 数の増加を図る。	

事業名	環境学習推進事業		担当課	環境政策課
取組内容	日常における環境問題について理解を深め、環境に配慮した実践活動につなげるため、環境フォーラムや自然観察会、セミナー（講座）等を開催する。			
指標	指標名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法
	環境フォーラム参加者数	122	170	ニーズにあった環境学習課題をテーマとする。

事業名	高齢者・女性・人権教育学級開催事業		担当課	生涯学習課
取組内容	高齢者学級では、健康で生きがいのある人生を見出すため、仲間づくりや学習の成果を地域で活かすための活動の場を提供する。			
	女性学級では、女性としての知識と教養を高め、健やかに充実した生活が送れるよう学習するための場を提供する。			
指標	人権教育学級では、人権問題についての正しい理解と認識を深め、差別のない明るい社会づくりを目指すための学習の場を提供する。			
	指標名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法
	各学級受講者参加延べ人数	3,578	4,100	各公民館で開催する。

事業名	市民学習カレッジ事業			担当課	生涯学習課
取組内容	公民館や文化・学習センター等と連携し、「きつかけづくりセミナー」[趣味的セミナー]「現代的・社会的課題セミナー」[まなびのセミナー]を総合的に取入れた幅広いセミナーを実施する。 また、市民の多様なニーズに応えるため、学習相談機能及び体制の充実を図り、積極的なPRを行う。 学習成果の活かし方や生涯学習コーディネートとしてのあり方に関する研修会等を開催し、学習成果を活用するとともに、地域で活用する機会の充実を図る。				
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法	
	市民学習カレッジセミナー受講者延べ人数			セミナー内容の充実、関係部署と連携を図り、受講者数の増加を図る。	

事業名	シニアいきいき大学事業			担当課	生涯学習課
取組内容	60歳以上の市民を対象に学部・コースを開設し、平成国際大学の教授等を講師とするなど、同大学と連携して実施する。				
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法	
	シニアいきいき大学生人数			平成国際大学と連携して専門的な講義を実施する。	
	シニアいきいき大学卒業後のサークル会員数			卒業生のサークル化を図り、自主活動の支援を行う。	

事業名	生涯学習フェスティバル開催事業			担当課	生涯学習課
取組内容	市内で活躍されている市民講師、サークル及びセミナー受講生等の学習活動や創作活動を紹介するなど、学習成果発表の場として生涯学習フェスティバルを開催する。				
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法	
	生涯学習フェスティバル来場者数	2,880	3,700	運営方法、内容等を検討し、参加者の増加を図る。	

事業名	地域市民活動促進事業			担当課	市民協働推進課
取組内容	市民活動ステーション(くらくら館)を拠点として、市民の自主的・主体的なまちづくり活動への参加を促進する。				
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法	
	市民活動ステーション年間利用者数	4,725	5,025	情報提供や相談体制の充実により、活用促進を図る。	

事業名	各種協力団体との連携によるイベント等の実施			担当課	生涯学習課
取組内容	生涯学習市民企画委員や文化祭実行委員会等の各種協力団体と市職員が連携をして、団体の持つ学習資源を活用することで内容の充実を図りながら、イベント等を実施する。				
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法	
	各種協力団体との連携数	16	21	各種協力団体との連携により、学習資源として活用する。	

事業名	生涯学習フェスティバル開催事業	担当課	生涯学習課
取組内容	市内で活躍している市民講師、サークル及びセミナー受講生等の学習活動や創作活動を紹介するなど、学習成果発表の場として生涯学習フェスティバルを開催する。		
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)
	生涯学習フェスティバル来場者数		運営方法、内容等を検討し、参加者の増加を図る。

事業名	各種協力団体との連携によるイベント等の実施	担当課	生涯学習課
取組内容	生涯学習市民企画委員や文化祭実行委員会等の各種協力団体と市職員が連携をして、団体の持つ学習資源を活用することで内容の充実を図りながら、イベント等を実施する。		
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)
	各種協力団体との連携数		各種協力団体との連携により、学習資源として活用する。

事業名	大学等との交流事業促進	担当課	政策調整課
取組内容	地元の大学や高校などと幅広い連携を図りながら、官学連携による事業を推進します。(H24.1.17 平成国際大学と連携協定締結)		
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)
	市内大学等との連携事業数		様々な取組に対し、市と大学等が連携を図る。

事業名	大学等との交流事業促進	担当課	政策調整課
取組内容	地元の大学や高校などと幅広い連携を図りながら、官学連携による事業を推進します。(H24.1.17 平成国際大学と連携協定締結)		
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)
	市内大学等との連携事業数	18	20

様々な取組に対し、市と大学等が連携を図る。

事業名	シニアいきいき大学事業	担当課	生涯学習課
取組内容	60歳以上の加須市在住の方を対象に学部・コースを開設し、平成国際大学の教授等を講師とするなど、同大学と連携して実施する。		
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)
	シニアいきいき大学生徒数	161	166
	シニアいきいき大学卒業後のサークル会員数	61	80

平成国際大学と連携して専門的な講義を実施する。

卒業生のサークル化を図り、自主活動の支援を行う。

事業名	地域市民活動促進事業	担当課	市民協働推進課
取組内容	市民活動ステーション（くらくら館）を拠点として、市民の自主的・主体的なまちづくり活動への参加を促進する。		
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)
	市民活動ステーション年間利用者数		情報提供や相談体制の充実ににより、活用促進を図る。

事業名	環境学習推進事業	担当課	環境政策課
取組内容	日常における環境問題について理解を深め、環境に配慮した実践活動につなげるため、環境フォーラムや自然観察会、セミナー（講座）等を開催する。		
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)
	環境フォーラム参加者数		ニーズにあった環境学習課題をテーマとする。

施策2 生涯学習環境の整備・充実

本市には、文化・学習センターや市民プラザ、公民館、コミュニティセンター、図書館、加須米蔵、郷土資料館、体育施設等様々な生涯学習関連施設があります。市民がこれらの施設を有効活用するためには、施設間で十分に連携を行う必要があります。

施設利用者の安全性や利便性、学習環境の向上を図るため、施設の適正な維持管理に努めるとともに施設の充実にも努めます。また、学校施設の有効活用を図ります。

事業名	コミュニティセンター管理運営事業	担当課	市民協働推進課
取組内容	地域の拠点施設として、多くの市民が安全安心に利用できるよう、施設の適正な維持管理を行い、地域コミュニティ活動の推進を図る。		
指 標	指 標 名 コミュニティセンター利用者数	現 状 値(R3)	目 標 値(R7)
			管理運営及び活用の促進を図る。
指 標			取組方法

事業名	公民館管理運営事業	担当課	生涯学習課
取組内容	地域に密着した公民館施設の管理運営を適切に実施し、地域住民のコミュニティ活動や行政サービスの拠点としての活用、促進を図る。		
指 標	指 標 名 公民館の年間利用者数	現 状 値(R3)	目 標 値(R7)
			各公民館にて、施設の管理運営及び活用、促進を図る。
指 標			取組方法

事業名	集会所管理運営事業	担当課	生涯学習課
取組内容	各地区集会所施設の保守・修繕等の維持管理を図り、市民に身近な学習の場や交流の場として活用されるよう、利便性の向上を図る。		
指 標	指 標 名 集会所年間利用者数	現 状 値(R3)	目 標 値(R7)
			管理運営及び利便性の向上を図る。
指 標			取組方法

施策2 生涯学習環境の整備・充実

施設利用者の安全性や利便性、学習環境の向上を図るため、施設の適正な維持管理に努めるとともに計画的な施設の整備・充実に努めます。また、学校施設の効果的な有効活用を図ります。

事業名	公民館管理運営事業	担当課	生涯学習課
取組内容	地域に密着した公民館施設の管理運営を適切に実施し、地域住民のコミュニティ活動や行政サービスの拠点としての活用、促進を図る。		
指 標	指 標 名 公民館の年間利用者数	現 状 値(H28)	目 標 値(H32)
		132,013	142,000
指 標			各公民館にて、施設の管理運営及び活用、促進を図る。
指 標			取組方法

事業名	コミュニティセンター管理運営事業	担当課	市民協働推進課
取組内容	地域の拠点施設として、多くの市民が安全安心に利用できるよう、施設の適正な維持管理を行い、地域コミュニティ活動の推進を図る。		
指 標	指 標 名 コミュニティセンター利用者数	現 状 値(H28)	目 標 値(H32)
		196,244	197,400
指 標			管理運営及び活用の促進を図る。
指 標			取組方法

事業名	文化・学習センター管理運営事業	担当課	文化・学習センタ
取組内容	市民の芸術文化活動や生涯学習活動の拠点施設として、安全かつ快適に利用できるよう施設の再整備を図る。		
指 標	指 標 名 4施設延べ利用者数	現 状 値(H28)	目 標 値(H32)
		236,717	275,000
指 標			管理運営及び活用の促進を図る。
指 標			取組方法

新		旧	
事業名 余裕教室等活用事業		事業名 加須未来館管理運営事業	
取組内容	各小中学校における余裕教室や一時利用可能教室の活用の推進を図る。	取組内容 加須未来館の施設管理、事業運営を行い、科学体験学習の促進を図る。	
	指 標 余裕教室等活用人数	指 標 名 プラネタリウム観覧者数	目 標 値 (H28) 14,086
指 標		目 標 値 (R7)	取組方法 魅力ある学習内容の検討や情報を周知し、入館者数の増加を図る。
事業名 文化・学習センター管理運営事業		事業名 集会所管理運営事業	
取組内容	市民の芸術文化活動や生涯学習活動の拠点施設として、安全かつ快適に利用できるように施設の維持管理、事業運営を行う。	取組内容 各地区集会所施設の保守・修繕等の維持管理を図り、生涯学習社会に対応した施設となるよう、利便性の向上を図る。	
	指 標 4施設延べ利用人数	指 標 名 集会所年間利用者数	目 標 値 (H28) 10,233
指 標		目 標 値 (R7)	取組方法 管理運営及び利便性の向上を図る。
事業名 加須未来館管理運営事業		事業名 余裕教室等活用事業	
取組内容	加須未来館の施設管理、事業運営を行い、科学体験学習を推進する。	取組内容 各小中学校における余裕教室や一時利用可能教室の活用の推進を図る。	
	指 標 プラネタリウム観覧者数	指 標 名 余裕教室等活用人数	目 標 値 (H28) 64
指 標		目 標 値 (R7)	取組方法 魅力ある学習内容の検討や情報を周知し、入館者数の増加を図る。
事業名 田ヶ谷総合センター管理運営事業		事業名 学校体育施設開放管理運営事業	
取組内容	人権・男女共同参画課	取組内容 小・中学校の体育施設等を開放し、市民のスポーツ・レクリエーションの推進を図る。	
	指 標 指 標 名	目 標 値 (H28) 195,560	目 標 値 (R7) 242,400
指 標		取組方法 安全点検管理等を定期的に実施及び活用を図る。	

基本目標2 芸術文化の振興

施策1 芸術文化活動の振興

市民が主体となった芸術文化活動を支援するため、各地域文化祭の開催や県展展示作品の展示などを行い、多くの市民に優れた芸術文化に触れる機会を提供します。

また、各地域の文化・学習センターや公民館等で文化祭・芸術文化イベントを開催し、市民が芸術文化に触れたり、自らの作品を披露したりできる機会を創出します。

さらに、加須市郷土かるた大会を開催し、子どもたちや市民の郷土愛を育みます。

事業名	地域文化振興事業	担当課	生涯学習課
取組内容	市民が多くの文化・芸術に触れる機会をつくることに、多くの市民が参加することにより豊かな感性と創造力に富んだ芸術文化の振興を図る。		
指標	指標名 各地域文化祭の来場者数	現状値(R3)	目標値(R7)
			取組方法 各種文化団体等と協働し、実施する。

事業名	地区文化祭振興事業	担当課	生涯学習課
取組内容	公民館講座及びクラブ・サークルの学習成果を発表・展示することにより、市民の学習意欲を高め、交流を深める。		
指標	指標名 各公民館へ文化祭の来場者数	現状値(R3)	目標値(R7)
			取組方法 各公民館にて、運営方法、内容等を検討し、参加者の増加を図る。

基本目標2 芸術文化の振興と郷土愛の醸成

施策1 芸術文化活動の振興

市民が主体となった芸術文化活動を支援するため、各地域文化祭の開催や県展展示作品の展示などを行い、多くの市民に優れた芸術文化に触れる機会を提供します。

また、各地域の公民館等で文化祭を開催し、市民が芸術文化に触れたり、自らの作品を披露したりできる機会を創出します。

さらに、市内各地域の商店や空き店舗等を活用しながら、小学生等の作品を展示し、市民が気軽に芸術作品に触れ合える環境を提供します。

事業名	地域文化振興事業	担当課	生涯学習課
取組内容	市民が多くの文化・芸術に触れる機会をつくり、自ら参加することにより創造性の育成と芸術文化の振興を図る。		
指標	指標名 各地域文化祭の来場者数	現状値(H28)	目標値(H32)
		15,600	20,400
			取組方法 各種文化団体等と協働し、実施する。

事業名	地区文化祭振興事業	担当課	生涯学習課
取組内容	公民館講座及びクラブ・サークルの学習成果を発表・展示し、地域住民の学習意欲を高めるとともに、交流を深める。		
指標	指標名 各公民館へ文化祭の来場者数	現状値(H28)	目標値(H32)
		10,374	12,100
			取組方法 各公民館にて、運営方法、内容等を検討し、参加者の増加を図る。

事業名	加須市郷土かるた大会開催事業			担当課	生涯学習課
取組内容	加須市郷土かるたを活用し、広く市民に伝統文化や加須の偉人を啓発する。				
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法	
	大会参加者数			加須市郷土かるた大会を開催し、参加者の増加を図る。	

事業名	文化・学習センター芸術文化振興事業			担当課	文化・学習センター
取組内容					
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法	

施策2 「加須の偉人」の顕彰

偉人ごとの講演会やイベントにおけるパネル展示を行い、斎藤与里、河野省三、田中正造、下總皖一、田口和美、谷山豊、若林珪蔵の7名の偉人の功績を顕彰するとともに、市民の誇りとして後世に受け継ぐことに努めます。

事業名	偉人顕彰事業			担当課	生涯学習課
取組内容	加須の偉人について、様々なイベント時におけるパネル展の同時開催をし、パンフレットを配布するなど、顕彰活動を行う。				
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法	
	偉人パネル展開催回数			展示内容の工夫やイベントにおけるパネル展の周知を徹底する。	

事業名	まちかど美術館推進事業			担当課	生涯学習課
取組内容	市内各小学校及び各地域商店街等の協力により、児童の絵画作品を商店等に展示する。				
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法	
	まちかど美術館開催回数	5	5	商店街イベントとあわせて実施する。	

事業名	加須市郷土かるた大会開催事業			担当課	生涯学習課
取組内容	加須市郷土かるたを活用し、広く市民に伝統文化を啓発する。				
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法	
	大会参加者数	396	516	加須市郷土かるた大会を開催し、参加者の増加を図る。	

施策2 「加須の偉人」の顕彰

偉人ごとの講演会やイベントにおけるパネル展示を行い、斎藤与里、河野省三、田中正造、下總皖一、田口和美、谷山豊、若林珪蔵の7名の偉人の功績を顕彰するとともに、後世に伝え、市民の郷土愛の醸成を図ります。

事業名	偉人顕彰事業			担当課	生涯学習課
取組内容	加須の偉人について、様々なイベント時におけるパネル展の同時開催をし、パンフレットを配布するなど、顕彰活動を行う。				
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法	
	偉人パネル展開催回数	9	9	展示内容の工夫やイベントにおけるパネル展の周知を徹底する。	

基本目標3 文化財の保存継承による郷土愛の醸成

施策1 文化財の積極的な保存・活用の推進

市内の文化財や民俗資料、伝統文化を保存・活用するために文化財の調査や資料の収集を行い、必要に応じて保護・修理を行います。文化財の保護・継承活動を行う所有者や保護団体に対し、その活動を支援します。

また、市内の文化財等を、騎西郷土史料展示室や北川辺郷土資料館で展示するとともに、「加須インターネット博物館」での紹介や文化財説明板の設置やパンフレットの刊行、文化財めぐりなどを実施し、広く普及啓発を図り、文化財の活用を通じた地域活性化を図ります。

事業名	文化財の保存と活用による地域活性化事業			担当課	生涯学習課
取組内容	騎西郷土史料展示室、北川辺郷土資料館において、郷土の歴史や考古資料等を保存・展示する。騎西郷土史料展示室は、藤まつりや文化祭の時期に合わせ公開する。				
指標	指標名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法	
	両館への年間来館者数			適切な管理運営及び良好な環境づくりに努める。	
	団体への展示解説件数			郷土史の学習機会を提供する。	

事業名	騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業			担当課	生涯学習課
取組内容	騎西郷土史料展示室、北川辺郷土資料館において、郷土の歴史や考古資料等を保存・展示する。騎西郷土史料展示室は、藤まつりや文化祭の時期に合わせ公開する。				
指標	指標名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法	
	両館への年間来館者数			適切な管理運営及び良好な環境づくりに努める。	
	団体への展示解説件数			郷土史の学習機会を提供する。	

基本目標3 文化財の保存・活用

施策1 文化財の積極的な保存・活用の推進

市内の文化財や民俗資料、伝統文化を保存・活用するために文化財の調査や資料の収集を行い、必要に応じて保護・修理を行います。保護・継承活動を行う所有者や保護団体に対し、その保護・継承を支援します。さらに、加須市郷土かるた大会を開催し、市民の郷土愛の醸成を図ります。

また、市内の文化財等を、騎西郷土史料展示室や北川辺郷土資料館で展示するとともに、「加須インターネット博物館」での紹介や文化財説明板の設置やパンフレットの刊行、文化財めぐりなどを行い、広く普及啓発を図ります。

事業名	騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業			担当課	生涯学習課
取組内容	騎西郷土史料展示室、北川辺郷土資料館において、郷土の歴史や考古資料等を保存・展示する。騎西郷土史料展示室は、藤まつりや文化祭の時期に合わせ公開する。				
指標	指標名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法	
	両館への年間来館者数	3,394	3,400	適切な管理運営及び良好な環境づくりに努める。	
	団体への展示解説件数	6	6	郷土史の学習機会を提供する。	

事業名	加須インターネット博物館管理運営事業			担当課	生涯学習課
取組内容	郷土の歴史・文化を網羅したインターネット上の総合博物館として、動画や画像を活用した情報を提供する。				
指標	指標名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法	
	インターネット博物館へのアクセス回数	10,741	10,830	掲載内容の充実及び獅子舞の奉納日程等を情報発信する。	

事業名	加須インターネット博物館管理運営事業			担当課	生涯学習課
取組内容	郷土の歴史・文化を網羅したインターネット上の総合博物館として、動画や画像を活用した情報を提供する。				
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法	
	インターネット博物館へのアクセス回数			掲載内容の充実及び獅子舞の奉納日程等を情報発信する。	

事業名	伝統文化継承支援事業			担当課	生涯学習課
取組内容	各種伝統文化の継承団体の活動支援を行う。				
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法	
	伝統文化保存会会員数			各保存会の支援を行う。(獅子舞連合会、玉敷神楽保存会、武州加須囃子)	

事業名	指定文化財の調査・保護事業			担当課	生涯学習課
取組内容	加須市内に所在する計195件の国・県・市指定文化財を保護し、後世に継承する。				
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法	
	指定文化財の状況調査及び助言			状況調査や管理者への助言や支援を行う。	

事業名	伝統文化継承支援事業			担当課	生涯学習課
取組内容	各種伝統文化の継承団体の活動支援を行う。				
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法	
	伝統文化保存会会員数	303	309	各保存会の支援を行う。(獅子舞連合会、玉敷神楽保存会、武州加須囃子)	

事業名	指定文化財の調査・保護事業			担当課	生涯学習課
取組内容	加須市内に所在する計195件の国・県・市指定文化財を保護し、後世に継承する。				
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法	
	指定文化財の状況調査及び助言	11	11	状況調査や管理者への助言や支援を行う。	

事業名	発掘調査報告書の刊行事業			担当課	生涯学習課
取組内容	これまでに騎西地域で実施した埋蔵文化財の発掘調査について、その成果をまとめた記録である調査報告書を刊行する。そのことにより将来にわたり記録を保存し、かつ広く共有し今後の活用にする。				
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法	
	報告件数(累積)	95	99	未刊の調査報告書を刊行する。	

事業名	発掘調査報告書の刊行事業			担当課	生涯学習課
取組内容	これまででに駒西地域で実施した埋蔵文化財の発掘調査について、その成果をまとめた記録である調査報告書を刊行する。そのことにより将来にわたり記録を保存し、かつ広く共有し今後の活用に供する。				
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法	
	報告件数(累積)			未刊の調査報告書を刊行する。	

事業名	文化財の普及・啓発事業			担当課	生涯学習課
取組内容	市内の文化財について市民が広く親しみ、また深く理解することによって郷土の誇りと愛着を育むように、講座の実施や文化財への問合せについて回答する。				
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法	
	講座数			独自講座の開催や依頼された講座の講師を務める。	
	文化財回答件数			文化財に関する質問に対し、資料及び現地調査し回答する。	

事業名	トキノウの保護・増殖事業			担当課	環境政策課
取組内容	トキノウが自生する浮野を保護し、トキノウ開花後の種子を採取し増殖を図る。				
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法	
	自生地の観察回数			毎月1回観察を行い、自生植物の生育状況や浮野の環境変化を調査する。	

事業名	文化財の普及・啓発事業			担当課	生涯学習課
取組内容	市内の文化財について市民が広く親しみ、また深く理解することによって郷土の誇りとなるように、講座を実施や文化財の質問について回答する。				
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法	
	講座数	4	4	独自講座の開催や依頼された講座の講師を務める。	
	文化財回答件数	96	100	文化財に関する質問に対し、資料及び現地調査し回答する。	

事業名	トキノウの保護・増殖事業			担当課	環境政策課
取組内容	トキノウが自生する浮野を保護し、トキノウ開花後の種子を採取し増殖を図る。				
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法	
	自生地の観察回数	12	12	毎月1回観察を行い、自生植物の生育状況や浮野の環境変化を調査する。	

事業名	オニバス保護活用事業			担当課	北川辺総合支所 地域振興課
取組内容	絶滅危惧種であるオニバス及び同所に自生する水性植物の保護育成を行い、豊かな自然環境の保全を図り、観光資源としての活用を図る。				
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法	
	オニバス自生地来訪者数	1,084	1,550	自生地の情報発信やイベントを開催する。また、管理団体の支援を行う。	

新 旧			
事業名	オニバス保護活用事業	担当課	北川辺総合支所 地域振興課
取組内容	絶滅危惧種であるオニバス及び同所に自生する水性植物の保護育成を行い、豊かな自然環境の保全を図り、観光資源としての活用を図る。		
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)
	オニバス自生地来 訪者数		自生地の情報発信 やイベントを開催 する。また、管理団 体の支援を行う。

基本目標4 読書活動の推進

施策1 子どもの読書活動の推進

子どもが自ら読書に親しみ、子どもの読書習慣が身につくために、子どもが読書活動をより身近に感じられる環境の整備を図ります。

事業名	絵本との親子ふれあい事業	担当課	図書館課
取組内容	親子で絵本に親しむ家庭の割合を高め、乳児の健やかな心の成長を支援する。		
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)
	絵本を配布した親子の割合		9～10か月健診時に乳児とその保護者に絵本と絵本リストをプレゼントする。

事業名	ブックトーク・おはなし会開催事業	担当課	図書館課
取組内容	学校やボランティア等と連携して、図書館内外で子どもが本や物語の楽しさと出会う機会をつくり、保護者には本の楽しさを子どもたちに伝える大切さを学ぶ機会をつくり、子どもの読書活動を推進する。		
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)
	ブックトークの実施小学校数		子ども達に絵本の読み聞かせやブックトークを行う。

基本目標4 図書館サービスの充実

施策1 図書館資料の充実と図書館ネットワークの推進

図書館サービスに関する市民の多様なニーズに対応するため、市内4館をはじめ、他の公共図書館や関係機関との連携・協力を推進し、図書館サービスの充実を図ります。

また、地域特性にあわせた特色ある図書館づくりを推進するとともに、蔵書の充実を図ります。

事業名	図書館資料整備事業	担当課	図書館課
取組内容	加須市立図書館資料収集要綱及び収集基準に基づき、蔵書の充実を図り、市民ニーズに対応した魅力ある図書館づくりを図る。		
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)
	4館の年度末蔵書数 (図書のみ)	550,663	610,000
			予約リクエスト、時事、出版状況等により、利用者ニーズに対応した蔵書の充実を図る。

事業名	図書館管理運営事業	担当課	図書館課
取組内容	市内4館を繋ぐ図書館情報システムを活用した貸出・返却・予約処理及び返却の督促等を効率的に実施するとともに、他の公共図書館等との連携・協力を推進し、サービスの充実を図る。また、時節ごとに展示を行うなど、良好な環境づくりを推進する。		
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)
	市民一人当たりの年間貸出冊数	5.27	5.62
			適切な管理運営及び良好な環境づくりに努め、利用者の拡充を図る。

事業名	図書館まつり開催事業		担当課	図書館課
取組内容	図書館利用への関心を高め、利用者の増加と読書普及活動の推進を図るためのイベント等を実施する。			
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)	取組方法
	図書館まつり参加者数	3,543	3,600	各図書館における図書館まつりの参加者増を図る。

施策2 市民の読書活動の推進

読書には、知識を得るだけでなく、読解力が高めることができ、文字情報をもとに想像を膨らませ、考えを構築することができまます。
市民一人ひとりが生涯にわたり、読書に親しむ環境づくりを推進します。

事業名	読書活動支援事業	担当課	図書館課
取組内容			
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)
	指 標 名		
	取組方法を点検・評価し、事業の改善を図る。		

事業名	図書館管理運営事業	担当課	図書館課
取組内容			
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)
	指 標 名		
	取組方法を点検・評価し、事業の改善を図る。		

事業名	図書館まつり開催事業	担当課	図書館課
取組内容	図書館利用への関心を高め、利用者の増加と読書普及活動の推進を図るためのイベント等を実施する。		
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)
	指 標 名		
	取組方法を点検・評価し、事業の改善を図る。		

施策2 子ども読書活動の推進

全ての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動ができるよう、図書館が中心となり、学校・家庭・地域との連携を図りながら、子どもの読書活動を推進します。

事業名	子ども読書活動推進計画進行管理事業	担当課	図書館課
取組内容	子ども読書活動推進計画に基づき、事業の進捗状況を確認・検証し、進行管理を図るとともに事業の推進を促す。		
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)
	取組事業のうち達成度の割合	60	80
	取組内容を点検・評価し、事業の改善を図る。		

事業名	絵本との親子ふれあい事業	担当課	図書館課
取組内容	親子で絵本に親しむ家庭の割合を高め、乳児の健やかな心の成長を支援する。		
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)
	絵本を配布した親子の割合	91	100
	取組方法を点検・評価し、事業の改善を図る。		

事業名	ブックトーク・おはなし会開催事業	担当課	図書館課
取組内容	学校やボランティア等と連携して、図書館内外で子どもが本や物語の楽しさと出会う機会をつくり、保護者には本の楽しさを子どもたちに伝える大切さを学ぶ機会をつくり、子どもの読書活動を推進する。		
指 標	指 標 名	現状値(H28)	目標値(H32)
	ブックトークの実施小学校数	5	8
	取組方法を点検・評価し、事業の改善を図る。		

基本目標5 家庭や地域での健やかな子どもを育む取組の推進

施策1 家庭教育の支援

家庭・地域の絆づくりの一層の推進のため、埼玉県家庭教育アドバイザーと連携して家庭教育力と地域の教育力の向上を図ります。

事業名	家庭の学びと地域の絆推進事業			担当課	生涯学習課
取組内容					
指標	指標名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法	

施策2 青少年の健全育成

地域で子どもを育てる気運の醸成と地域の教育力の向上を図るため、各地域で活動する青少年健全育成団体の活動を支援するとともに、加須げんきプラザなど関係機関と連携し、地域と一体となって健やかな子どもを育む取組を推進します。

事業名	青少年健全育成事業			担当課	生涯学習課
取組内容					
指標	指標名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法	

事業名	成人式開催事業		担当課	生涯学習課
取組内容				
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法

施策3 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

学校の一層の活性化と家庭や地域の教育力の向上を図るため、学校・家庭・地域及び関係機関が一体となった子どもの健全育成に努め、地域密着型の教育を推進します。

また、市内各地域の商店等に小学生等の作品を展示し、市民が鑑賞すること
で、学校・家庭・地域の連携を図るとともに、世代間の交流の機会を提供しま
す。

事業名	まちかど美術館推進事業		担当課	生涯学習課
取組内容	市内各小学校及び各地域商店街等の協力により、児童の絵画作品を商店等に展示する。			
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法
	まちかど美術館開催回数			商店街イベントとあわせて実施する。

事業名	あいさつふれあい推進事業		担当課	学校教育課
取組内容				
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法

事業名	子どもの居場所づくり事業			担当課	子育て支援課
取組内容					
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法	

事業名	かぞ子ども大学事業			担当課	子育て支援課
取組内容					
指 標	指 標 名	現状値(R3)	目標値(R7)	取組方法	

施策4 人権教育の推進

学校、家庭、地域、企業等も含めた市民総ぐるみの協働により、あらゆる場・機会を通じて、同和問題をはじめとする多種多様な人権教育・啓発活動を行い、市民一人ひとりが人権問題に対する正しい理解と認識を深めることができるように努めます。

人権問題の解決のためには、市民一人ひとりが相手を思いやる気持ちを持ち、差別や偏見のない住みよい社会を実現するために、多様な場での学習機会を通して、人権教育を推進します。

事業名	高齢者・女性・人権教育学級開催事業	担当課	生涯学習課
取組内容	高齢者学級では、健康で生きがいのある人生を見出すため、仲間づくりや学習の成果を地域で活かすための活動の場を提供する。 女性学級では、女性としての知識と教養を高め、健やかに充実した生活が送れるよう学習するための場を提供する。 人権教育学級では、人権問題についての正しい理解と認識を深め、差別のない明るい社会づくりを目指すための学習の場を提供する。		
指標	指標名 各学級受講者参加 延べ人数	現状値(R3)	目標値(R7) 取組方法 各公民館で開催する。

事業名	人権教育推進事業	担当課	生涯学習
取組内容			
指標	指標名	現状値(R3)	目標値(R7) 取組方法

第7章 計画の推進・評価体制

1 計画の推進体制

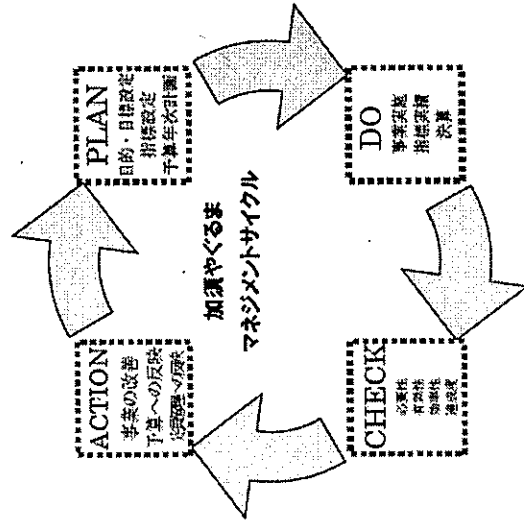
生涯学習推進のため様々な取組を実施し、学習の主体となる市民と、学習提供者であるクラブ・サークル団体等、関係部署との連携を図り計画を推進します。

2 計画の評価体制

計画を推進するに当たり、計画（PLAN）→実行（DO）→評価（CHECK）→見直し（ACTION）という「加須やぐるまマネジメントサイクル」の考え方を踏まえ、事業の実施結果を評価します。

※「加須やぐるまマネジメントサイクル」

総合振興計画と予算において事業の一元化を図り、PDCA マネジメントサイクルによる進行管理を行います。



第7章 計画の推進・評価体制

1 計画の推進体制

生涯学習推進のため様々な取組を実施し、学習の主体となる市民と、学習提供者であるクラブ・サークル団体等、関係部署との連携を図り計画を推進します。

2 計画の評価体制

計画を推進するに当たり、計画（PLAN）→実行（DO）→評価（CHECK）→見直し（ACTION）という「加須やぐるまマネジメントサイクル」の考え方を踏まえ、事業の実施結果を評価します。

※「加須やぐるまマネジメントサイクル」

総合振興計画と予算において事業の一元化を図り、PDCA マネジメントサイクルによる進行管理を行います。

